

「東北ブロックにおける観光立国の推進に係る 中期の方針」取組状況調査業務請負契約

実績報告書

令和7年3月



株式会社フィデア情報総研

目次

1 報告書要旨	1
2 調査の概要	3
3 調査結果	5
(1)構成機関別取り組み状況	6
(2)年度別取り組み状況	7
(3)個別事業の取り組み状況	8
(4)個別事業の概要	10
(5)調査結果の整理	49
4 戦略会議における有識者コメント	51
5 課題認識	53
6 取り組みの方向性	55

1 報告書要旨

報告書要旨

- 行政および民間の各機関において、多岐にわたる取り組みが進められている。行政機関では東北運輸局のほか、宮城県と福島県が、民間では(一社)東北経済連合会や東日本旅客鉄道(株)などが主体となり、幅広い施策を展開している。
- 5つの取組事項のうち、「(2)観光交流の拡大」は最も充実した取り組みが展開されており、次年度も引き続き安定した活動が見込まれる。一方、「(3)安全・安心の確保」は実績・予定ともに取り組む機関数が最も少なく、活動が低調となっている。
- 個別項目別にみると、令和6年度は観光交流の拡大に資する「新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み」や「地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進」、受入環境整備やアクセシビリティの向上に資する「多言語化、消費・決済環境の整備」に多くの機関が関与している。前者は次年度も同規模での活動が継続される見込みであるが、後者についてはピークを迎え、今後は活動が縮小する傾向にあり、項目によって動向が異なる。
- 今後の主な課題としては、既存の取り組みの継続・拡大に加え、取り組みの偏りの是正や民間機関の参画促進、持続可能な観光振興に向けた観光関連産業における人手不足への対応と観光財源の確保、観光地域づくりへの地域住民の参画促進などが挙げられる。
- したがって、今後の取り組み方針としては、施策の継続・強化、官民連携の促進、人手不足対策、観光財源の事例研究を進めるとともに、地域住民の参画機運を醸成し、これらを複層的に実施することで効果を最大化し、持続可能な観光施策の推進を図ることが重要である。

2 調査の概要

調査概要

調査目的

観光ビジョン推進東北ブロック戦略会議が策定した「東北ブロックにおける観光立国の推進に係る中期の方針」(以下、「方針」と記載)にて定めた取り組みについて、各施策の実施状況を把握し、課題を明確化する。これにより、今後の取り組みの方向性を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

調査対象

観光ビジョン推進東北ブロック戦略会議における構成機関 計36機関 59先
※右表のとおり

調査期間

令和7年2月12日～19日

調査方法

電子メールで依頼、調査票記入後に返信

調査項目

方針における取り組み事項毎の事業名、実施年度、予定、概要

回答状況

- 構成機関ベース 31機関 (回収率 86.1%)
- 送付ベース 50機関 (回収率 84.7%)

区分	構成機関名	送付先
国・機関	東北地方整備局	東北地方整備局 企画部 企画課 東北地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
	東京航空局	東京航空局 空港連携調整官 東京航空局 空港部 環境・地域振興室
	国土地理院 東北地方測量部	国土地理院 東北地方測量部 管理課
	仙台管区气象台	仙台管区气象台 気象防災部 地域防災推進課
	東北総合通信局	東北総合通信局 総務部企画課
	東北財務局	東北財務局 総務課
	東北農政局	東北農政局 農村振興部 都市農村交流課
	東北経済産業局	東北経済産業局 産業部 商業・流通サービス産業課
	東北地方環境事務所	東北地方環境事務所 国立公園課
	仙台国税局	仙台国税局 酒類業調整官
県・市	(独)国際観光振興機構(JNTO)	(独)国際観光振興機構(JNTO) 地域連携部 地域プロモーション連携室
	日本貿易振興機構(JETRO)	日本貿易振興機構(JETRO)仙台貿易情報センター
	青森県	青森県 観光国際戦略局 国際誘客グループ 青森県 鉄道対策課 青森県 教育庁文化財保護課
	岩手県	岩手県 観光・プロモーション室 国際観光担当 岩手県 交通政策室 岩手県 教育委員会生涯学習文化財課
	宮城県	宮城県 観光政策課 観光政策班 宮城県 地域交通政策課 宮城県 教育庁文化財課
	秋田県	秋田県 誘客推進課 秋田県 交通政策課 秋田県 教育庁生涯学習課文化財保護室
	山形県	山形県 観光文化スポーツ部 観光交流拡大課 国際観光推進室 山形県 みらい企画創造部 総合交通政策課 山形県 観光文化スポーツ部 県民文化芸術振興課
	福島県	福島県 観光交流課 福島県 生活交通課 福島県 教育庁文化財課
	仙台市	仙台市 インバウンド推進室 仙台市 公共交通推進課
民間	(一社)東北観光推進機構	(一社)東北観光推進機構
	(公社)日本観光振興協会 東北支部	(公社)日本観光振興協会 東北支部
	(一社)日本旅行業協会 東北支部(JATA)	(一社)日本旅行業協会 東北支部(JATA)
	(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)
	(一社)日本旅館協会 東北支部連合会	(一社)日本旅館協会 東北支部連合会
	(一社)日本ホテル協会 東北支部	(一社)日本ホテル協会 東北支部
	東北鉄道協会	東北鉄道協会
	東北索道協会	東北索道協会
	東北六県バス協会連合会	東北六県バス協会連合会
	東北ハイタク連合会	東北ハイタク連合会
国・機関	全国レンタカー協会 東北地区連合会	全国レンタカー協会 東北地区連合会
	東北旅客船協会	東北旅客船協会
	(一社)東北経済連合会	(一社)東北経済連合会
	東北六県商工会議所連合会	東北六県商工会議所連合会
	仙台国際空港(株)	仙台国際空港(株)
	東日本旅客鉄道(株)	東日本旅客鉄道(株)
	東北運輸局	東北運輸局 交通政策部 交通企画課 東北運輸局 交通政策部 環境・物流課 東北運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課
	東北運輸局	東北運輸局 鉄道部 計画課 東北運輸局 鉄道部 技術・防災課
	東北運輸局	東北運輸局 自動車交通部 旅客第一課 東北運輸局 自動車交通部 旅客第二課
	東北運輸局	東北運輸局 海事振興部 海事産業課 東北運輸局 観光部
計36機関		計59先

3 調査結果

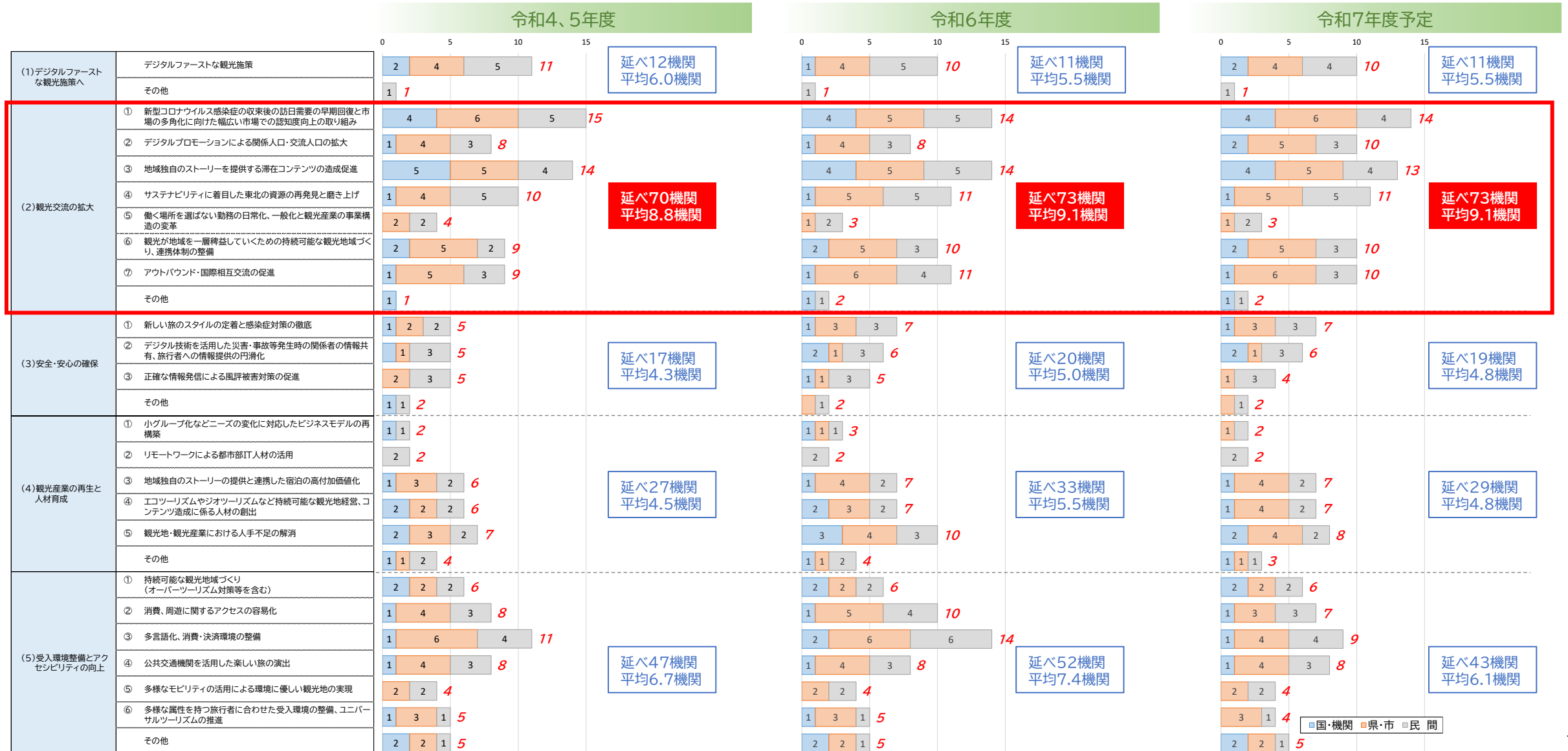
(1)構成機関別取り組み状況

- ✓ 行政および民間の各機関において、多岐にわたる取り組みが進められている。
- ✓ 行政機関では東北運輸局のほか、宮城県と福島県が、民間では(一社)東北経済連合会や東日本旅客鉄道(株)などが主体となり、幅広い施策を展開している。

			★★:複数実施 ★:実施 -:取り組みなし																																				
取組事項	取組項目	東北運輸局	東北地方整備局	東京航空局	国土地方消理院部	仙台管区気象台	東北総合通信局	東北財務局	東北農政局	東北経済産業局	東北地方環境事務所	仙台国税局	(独)国際観光振興機構(JNTO)	(独)国際観光振興機構(JETRO)	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	仙台市	(一社)東北観光推進機構	(公社)日本観光振興協会東北支部	(一社)日本旅行業協会(JATA)	(一社)全国旅行業協会(ANTA)	(一社)日本旅館協会東北支部連合会	(一社)日本ホテル協会東北支部	東北鉄道協会	東北客運協会	東北六県バス協会連合会	東北ハイタク連合会	全国レンタカー協会東北地区連合会	東北旅客船協会	(一社)東北経済連合会	東北六県商工会議所連合会	仙台国際空港(株)	東日本旅客鉄道(株)		
(1)デジタルファーストな観光施策へ		★★	-	-		-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	★	★	-	-	★★	★	★★			★	★	-		-	-	-	-	-	-	★★	★		★	
	その他	-	-	-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(2)観光交流の拡大	① 新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み	★★	★	-		-					★★	-	★★	-	-	★★	★★	★★	★★	★★	★	★★			★★	-			-	-	-	-	★	★★	-			★★	
	② デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大	★	-	-									★★	-	-	★★	★	★★	★★	★★	-	★★	★★			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	
	③ 地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進	★★	★★	-		-			-	★★	★	★★	-	-	-	★★	-	★★	-	★★	★★	★★	★★			-	★	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	★
	④ サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ	★★	-	-		-							-	-	-	★★	-	★	★	★★	★	-	★		★★	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★
	⑤ 働く場所を選ばない勤務の日常化、一般化と観光産業の事業構造の変革	-	-	-		-							-	-	-	-	-	★	-	★	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	
	⑥ 観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備	★★	★	-									-	-	-	★★	-	★	★★	★	★★	-	-		-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★
	⑦ アウトパウンド・国際相互交流の促進	-	-	-										★★	-	★★	-	★★	★	★★	★	★★	★★		★★	-	-	★		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	★	-	-		-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3)安全・安心の確保	① 新しい旅のスタイルの定着と感染症対策の徹底	★★	-	-		-	-					-	-	-	-	-	★★	★★	-	★★	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	-		★★	-	★
	② デジタル技術を活用した災害・事故等発生時の関係者の情報共有、旅行者への情報提供の円滑化	★★	★	-		-							-	-	-	-	-	-	-	★	-	-		-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	
	③ 正確な情報発信による風評被害対策の促進	★	-	-		-							-	-	-	-	★	-	-	★★	-	-		-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	
	その他	★	-	-		-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-		-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	-	-	
(4)観光産業の再生と人材育成	① 小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築	★★	-	-									-	-					-	★★	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	-	
	② リモートワークによる都市部IT人材の活用	-	-	-									-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	
	③ 地域独自のストーリーの提供と連携した宿泊の付加価値化	★	-	-									-	-	-	★★	-	★★	-	★	★★	★	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	
	④ エコツーリズムやジオツーリズムなど持続可能な観光地経営、コンテンツ造成に係る人材の創出	★	-	-						★	★	-	-	★	-	★	-	★	-	★	★★	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	★	
	⑤ 観光地・観光産業における人手不足の解消	★★	-	-						-	★	-	★	-	-	★★	★	★★	-	★★	-	-	-		-	-	-	★		-	-	-	-	-	-	-	-	★	
	その他	★★	-	-									-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-		★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	-	-	
(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上	① 持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む)	★★	-	-							★	-	-	-	★★	-	★★	-	★★	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	★	
	② 消費・周遊に関するアクセスの容易化	★★	-	-								-	-	-	-	-	★★	★★	★★	★	★	-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	★	-	-	★		
	③ 多言語化、消費・決済環境の整備	★★	-	-								-	★	-	-	★	★	★	-	★	★★	★	★		-	-	★		-	-	-	-	-	★	-	-	★★		
	④ 公共交通機関を活用した楽しい旅の演出	★★	-	-								-	-	-	-	-	-	★	★★	★	★★	★★	★		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	★		
	⑤ 多様なモビリティの活用による環境に優しい観光地の実現	-	-	-										-	-	-	★★	-	-	-	-	★★	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	★		
	⑥ 多様な属性を持つ旅行者に合わせた受入環境の整備、ユニバーサルツーリズムの推進	★★	-	-									-	-	-	-	★★	-	★★	-	★★	★	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★★	-	-		
	その他	★★	-	-						★★	-	-	-	-	-	★★	-	-	-	★	-	-	★★			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2)年度別取り組み状況

- ✓ 今年度の各取り組みにおける平均機関数は、「(2)観光交流の拡大」が最も多く、充実した取り組みが展開されている。次年度も引き続き安定した活動が見込まれる。
- ✓ 一方、「(3)安全・安心の確保」に取り組む機関数は最も少なく、次年度も増加の見通しは立っていない。このため、低調な状況が継続する見通しとなっている。



(3)個別事業の取り組み状況(上位10項目)

- ✓「(2)観光交流の拡大」に関する取り組みが上位を占めており、今後さらにこの傾向が強まる見通しである。
- ✓「(1)デジタルファーストな観光施策」は、次年度も同規模での継続が見込まれる。
- ✓「(5)③多言語化、消費・決済環境の整備」はピークを迎え、後は活動の縮小が予想されるなど、各項目の動向には違いが見られる。

令和4～5年度			
順位	取組事項	取組項目	取組機関数
1	(2)	①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み	15
2	(2)	③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進	14
3	(1)	デジタルファーストな観光施策	11
	(5)	③多言語化、消費・決済環境の整備	11
5	(2)	④サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ	10
6	(2)	⑥観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備	9
	(2)	⑦アウトバウンド・国際相互交流の促進	9
8	(2)	②デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大	8
	(5)	②消費、周遊に関するアクセスの容易化	8
	(5)	④公共交通機関を活用した楽しい旅の演出	8

令和6年度			
順位	取組事項	取組項目	取組機関数
1	(2)	①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み	14
	(2)	③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進	14
	(5)	③多言語化、消費・決済環境の整備	14
4	(2)	④サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ	11
	(2)	⑦アウトバウンド・国際相互交流の促進	11
6	(1)	デジタルファーストな観光施策	10
	(2)	⑥観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備	10
	(4)	⑤観光地・観光産業における人手不足の解消	10
10	(2)	②デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大	8
	(5)	②消費、周遊に関するアクセスの容易化	10
	(5)	④公共交通機関を活用した楽しい旅の演出	8

令和7年度予定			
順位	取組事項	取組項目	取組機関数
1	(2)	①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み	14
2	(2)	③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進	13
3	(2)	④サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ	11
4	(1)	デジタルファーストな観光施策	10
	(2)	②デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大	10
	(2)	⑥観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備	10
8	(5)	③多言語化、消費・決済環境の整備	9
	(4)	⑤観光地・観光産業における人手不足の解消	8
9	(5)	④公共交通機関を活用した楽しい旅の演出	8

(3)個別事業の取り組み状況(11位以下の項目)

令和4～5年度			
順位	取組事項	取組項目	取組機関数
11	(4)	⑤観光地・観光産業における人手不足の解消	7
12	(4)	③地域独自のストーリーの提供と連携した宿泊の高付加価値化	6
	(4)	④エコツーリズムやジオツーリズムなど持続可能な観光地経営、コンテンツ造成に係る人材の創出	6
	(5)	①持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む)	6
15	(3)	①新しい旅のスタイルの定着と感染症対策の徹底	5
	(3)	②デジタル技術を活用した災害・事故等発生時の関係者の情報共有、旅行者への情報提供の円滑化	5
	(3)	③正確な情報発信による風評被害対策の促進	5
	(5)	⑥多様な属性を持つ旅行者に合わせた受入環境の整備、ユニバーサルツーリズムの推進	5
	(5)	その他	5
20	(2)	⑤働く場所を選ばない勤務の日常化、一般化と観光産業の事業構造の変革	4
	(4)	その他	4
	(5)	⑤多様なモビリティの活用による環境に優しい観光地の実現	4
23	(3)	その他	2
	(4)	①小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築	2
	(4)	②リモートワークによる都市部IT人材の活用	2
26	(1)	その他	1
	(2)	その他	1

令和6年度			
順位	取組事項	取組項目	取組機関数
12	(3)	①新しい旅のスタイルの定着と感染症対策の徹底	7
	(4)	③地域独自のストーリーの提供と連携した宿泊の高付加価値化	7
	(4)	④エコツーリズムやジオツーリズムなど持続可能な観光地経営、コンテンツ造成に係る人材の創出	7
15	(3)	②デジタル技術を活用した災害・事故等発生時の関係者の情報共有、旅行者への情報提供の円滑化	6
	(5)	①持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む)	6
17	(3)	③正確な情報発信による風評被害対策の促進	5
	(5)	⑥多様な属性を持つ旅行者に合わせた受入環境の整備、ユニバーサルツーリズムの推進	5
	(5)	その他	5
20	(4)	その他	4
	(5)	⑤多様なモビリティの活用による環境に優しい観光地の実現	4
22	(2)	⑤働く場所を選ばない勤務の日常化、一般化と観光産業の事業構造の変革	3
	(4)	①小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築	3
24	(2)	その他	2
	(3)	その他	2
	(4)	②リモートワークによる都市部IT人材の活用	2
27	(1)	その他	1

令和7年度予定			
順位	取組事項	取組項目	取組機関数
11	(3)	①新しい旅のスタイルの定着と感染症対策の徹底	7
	(4)	③地域独自のストーリーの提供と連携した宿泊の高付加価値化	7
	(4)	④エコツーリズムやジオツーリズムなど持続可能な観光地経営、コンテンツ造成に係る人材の創出	7
	(5)	②消費、周遊に関するアクセスの容易化	7
15	(3)	②デジタル技術を活用した災害・事故等発生時の関係者の情報共有、旅行者への情報提供の円滑化	6
	(5)	①持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む)	6
17	(5)	その他	5
18	(3)	③正確な情報発信による風評被害対策の促進	4
	(5)	⑤多様なモビリティの活用による環境に優しい観光地の実現	4
	(5)	⑥多様な属性を持つ旅行者に合わせた受入環境の整備、ユニバーサルツーリズムの推進	4
21	(2)	⑤働く場所を選ばない勤務の日常化、一般化と観光産業の事業構造の変革	3
	(4)	その他	3
23	(2)	その他	2
	(3)	その他	2
	(4)	①小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築	2
	(4)	②リモートワークによる都市部IT人材の活用	2
27	(1)	その他	1

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて12の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度よりやや減少する見込み。
- ✓ 事業内容は、多言語WEBサイトの運用等のインバウンド向け施策、デジタルマーケティングの実施、MaaSの推進などとなっている。

(1)デジタルファーストな観光施策へ（1/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	DXや事業者間連携等を通じた観光地や観光産業の付加価値向上支援（観光庁補助事業）	山形県内の複数地域が連携しPMSの予約情報を基に相互送客を実施することでエリア全体の消費拡大に取り組む事業に補助	●		
	持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備事業	山形県南陽市の観光施設において混雑平準化・解消のための予約システム整備に補助を実施	●		
	東北地方の観光分野におけるデジタル技術活用推進調査・実証事業	東北運輸局において、観光におけるデジタル技術を活用した「観光事業者の生産性向上」「訪日外国人旅行者受入環境の改善」を目的としてデジタル技術の導入マニュアルを作成	●		
	全国の観光地・観光産業における観光DX推進事業（観光庁補助事業）	消費拡大に向けた観光地の多様なコンテンツの販路拡大やマーケティング強化、観光産業のレバニーマネジメント等の推進による収益・生産性向上を支援			●
東北経済産業局	トラベルテックセミナー	自治体を中心にDMO・宿泊事業者、関連団体との連携事例を紹介するとともに、DMO、関連団体向けに、活用できる施策を紹介	●	●	
	トラベルテックセミナー	宿泊事業者・DMO、自治体、関連団体向けに、活用できる施策の紹介や実際の施策活用事例を紹介			●
岩手県	東北観光DMP	東北観光DMPの導入によるデジタルマーケティング実施	●	●	●
宮城県	みやぎ観光デジタルプロモーション事業	インバウンド向けWEBサイト「VISIT MIYAGI」や、SNSを活用したターゲット市場向けの情報発信	●	●	※
福島県	訪日観光客受入体制整備事業	多言語WEBサイトの運用、GBP掲載支援等	●	●	
	訪日観光客受入体制整備事業	OTA及びGBPへの掲載支援、県多言語サイトへの宿泊施設等情報掲載、多言語WEBサイトの運用等			●
	観光デジタルプロモーション強化事業	WEBサイトの運用	●	●	
	海外情報発信強化事業	SNSの情報発信を強化するため、動画素材の収集編集を実施		●	
仙台市	仙台MaaS事業	デジタルスタンプラリーの実施。デジタルマップを活用したSENDAI光のページェントにおける各スポットの人流の可視化や混雑状況のリアルタイム表示。GTFS-JPを活用したバス停や時刻表などの情報をデジタルマップに表示。ポケモン GO フェスト・東北絆まつりと連携した地下鉄時間券の販売。その他大規模イベントにおけるデジタルマップへのモデルコースなどの情報掲載	●	●	●
(一社)東北観光推進機構	東北観光DMPを活用した観光消費動向分析に基づく観光戦略策定事業	インバウンドの消費購買データ分析、動態調査分析/東北全域	●		
	ポストコロナを見据えた地域連携マーケティング事業	インバウンドWEBアンケート調査、グループインタビュー調査/東北全域	●		
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	ANTA事務受託会社「(株)全旅」旅行事業会社利用クーポン事業に対する参画	-	●	●	●
(一社)日本旅館協会 東北支部連合会	セミナー開催	テーマ:旅館業におけるAI・DXの現在地(加盟旅館対象)		●	

(4)個別事業の概要

(1)デジタルファーストな観光施策へ (2/2)

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4~5	R6	R7
(一社)東北経済連合会	観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東北六県商工会議所連合会	東北まつりネットワーク(ポータルサイトの運営)	東北六県下の商工会議所が携わる東北の祭りの情報発信	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	「TOHOKU MaaS」の推進	地域・観光型 MaaS「TOHOKU MaaS」の推進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

その他

(一社)東北観光推進機構	CRMを活用した「TOHOKU Fan Club」による情報発信	観光情報やイベント情報発信とインバウンドアンケート調査による市場傾向分析/東北全域	●	●	●
--------------	----------------------------------	---	---	---	---

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて15の機関が取組みを展開。活発な活動が行われている。次年度の事業数は今年度と同数が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、訪日需要の回復と高単価旅行者の獲得に向けて、旅行会社やインフルエンサーの招請、ファミトリップの実施、国内外でのプロモーションの実施、高付加価値商品の造成などとなっている。

(2)観光交流の拡大

①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み（1/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出(観光庁補助事業)	青森県弘前市において、バリエーション豊かな建築物を活用したガイド付きツアーの造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択	●		
	観光再始動事業(観光庁補助事業)	東北各地の高付加価値商品を造成。郡山市では、安積蒸溜所の特別空間で海外でも有名なジャパニーズウイスキーをブレンドして試飲できる体験を造成。海外からの受け入れも継続して実施している。	●		
	インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業(観光庁補助事業)	福島県檜枝岐村において、尾瀬の自然ガイドと連携した滞在・高付加価値化の創出や、国指定重要有形民俗文化財を活用したコンテンツ造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択。	●		
	地域観光新発見事業(観光庁補助事業)	福島県福島市の吾妻山麓において、自然と共生する三大五葉松のひとつ「吾妻五葉松」と、清らかな水を原料に多様な酒を醸造する5人の蔵元が手がける「酒造り」の2大資源を柱に観光コンテンツ造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択。		●	
	特別な体験の提供等によるインバウンド消費拡大・質向上推進事業(観光庁補助事業)	東北各地のインバウンド向け高付加価値商品を造成。磐梯町では、ネコママウンテンでのヘリスキーやエクストリーム温泉など、海外スキー客の長期滞在が可能となる冬季コンテンツを、周辺エリア一体となって取り組み商品化。次年度以降の自走化も予定している。		●	
	地域観光魅力向上事業(観光庁補助事業)	将来に亘って持続的に地方誘客が促進されるよう、地域資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発から、適切な販路開拓や情報発信の総合的な支援を行い、中長期に亘って販売可能なビジネスモデルづくりを支援			●
	地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業(観光庁補助事業)	地域の観光資源を活用し、より高単価な特別体験商品(プレミアムインバウンドツアー)を造成予定			●
	JNTO広域連携プロモーション事業(観光庁補助事業)	東北管内の自治体やDMOから観光資源を募集し、観光庁、JNTO、東北観光推進機構、東北運輸局でプロモーションの計画を立案。招請事業と広告事業を実施予定			●
東北地方整備局	クルーズ船受入の更なる寄港拡充	令和5年3月から外航クルーズが再開され、令和6年の東北管内クルーズ船寄港回数は過去最多を記録。クルーズ船の受入体制の更なる充実に向け、クルーズ船社や観光事業者等との意見交換や現地視察、個別商談を実施	●	●	●
東北地方環境事務所	東北地方環境事務所 国立公園満喫プロジェクト(十和田八幡平国立公園)	国内外からの国立公園のディスティネーション化を目指した世界水準の国立公園づくり。上質な滞在環境の創出のための廃屋の撤去と利用拠点計画に沿った「上質化事業」を活用した補助事業者による景観改善と観光施策改善を実施	●	●	※
	東北地方環境事務所 国立公園満喫プロジェクト(三陸復興国立公園)	国内外からの国立公園のディスティネーション化を目指した世界水準の国立公園づくり。ビジターセンター等におけるプロモーション動画やパンフレット等の多言語整備事業。公園内各地に点在する遊覧船・漁船クルーズ・離島連絡船等の事業者が連携した一体的な利用促進ツールの作成と運用	●	●	※
	東北地方環境事務所 国立公園満喫プロジェクト(磐梯朝日国立公園)	国内外からの国立公園のディスティネーション化を目指した世界水準の国立公園づくり。利用者受入れのための基盤整備として、浄土平ビジターセンターでデジタルサイネージ導入による多言語整備や裏磐梯ビジターセンターの改修工事を実施。	●	●	※

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大

①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み（2/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
(独)国際観光振興機構 (JNTO)	広告(オンライン／オフライン)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	メディア／インフルエンサー招請事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	インターネット(SNS／WEB)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	セミナー・ネットワーキングイベント(旅行関係者／メディア)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	セミナー・ネットワーキングイベント(一般消費者)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	旅行博・商談会(旅行関係者)出展事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	旅行博・イベント(一般消費者)出展事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	旅行会社(造成担当／販売担当)招請事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	共同広告(オンライン／オフライン)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
岩手県	いわてインバウンド推進事業	東北推進観光機構と連携したプロモーション(旅行会社等招請、旅行博出展など)	●		
	インバウンド誘客回復スタートダッシュ事業	「いわて花巻空港」の国際線就航先(台湾)での集中的なプロモーション実施	●		
	インバウンドプロモーション支援事業	県内観光事業者が、海外で行うプロモーション活動に対し支援(補助事業)	●	●	
	2023年に行くべき岩手推進事業	NYタイムズ効果を生かした首都圏等でのプロモーション	●		
	いわて観光再始動事業	国補助事業を活用した特別なイベントの実施	●		
	世界が訪れたい東北・岩手広域周遊促進プロモーション事業	東北推進観光機構と連携したプロモーション(旅行会社招請、旅行博出展など)		●	●
	インバウンドぐると県内周遊促進事業	「いわて花巻空港」の国際線利用促進/運航再開に向けたプロモーション(セールス、旅行会社招請など)、県内周遊旅行商品造成支援(補助事業)		●	●
	世界が気づいた岩手の魅力発信事業	知事北米トップセールスによる県産品販路拡大と併せた観光PR(旅行博出展)		●	
宮城県	【再掲】みやぎ観光デジタルプロモーション事業	インバウンド向けWEBサイト「VISIT MIYAGI」や、SNSを活用したターゲット市場向けの情報発信	●	●	※

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大

①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み（3/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
宮城県	アンバサダーサミット開催事業	東日本大震災時の支援に対する感謝と宮城県の魅力を伝えるために、駐日大使等を招いたサミットを開催		●	
	欧州市場インバウンド促進事業	欧州からの観光客の誘致促進に向けた欧州マーケットへの観光プロモーションを実施			※
秋田県	広域連携による戦略的プロモーション事業	東北観光推進機構や東北各県、東京都等と連携したプロモーションを展開	●	●	●
	インバウンド回復に向けた誘客促進事業	コロナ禍後のインバウンド需要の回復に向けた各市場での情報発信や台湾便の誘致等	●		
	インバウンド拡大に向けた誘客促進事業	台湾便の利用促進やタイ、欧州、冬季誘客が見込まれる市場への情報発信等		●	●
	秋田空港／大館能代空港旅行商品造成支援交付金	大館能代空港は羽田空港乗継旅行商品には助成金額を加算	●	●	※
	空港乗継圏域重点プロモーション	宮崎県、広島県、石川県(R4)、高知県、石川県(R5)において、現地メディアを活用したPRを実施	●		
	航空会社と連携した乗継促進事業	各種割引キャンペーン	●		
	航空会社と連携した利用促進事業	各種割引キャンペーン、インフルエンサーを活用したORC路線PRの実施	●	●	※
	大館能代空港リピーター創出事業	宿泊費助成	●	●	
	秋田空港開港40＋1周年記念事業	県内イベント実施(R4)	●		
	空港利用促進キャンペーン	大館能代空港-羽田空港線キャッシュバック(R4)	●		
	大館能代空港ビジネス利用促進事業	企業ファンクラブ会員向けキャッシュバック(R4)	●		
	OTAを活用した誘客促進事業	大館能代空港(R4)、大館能代空港、秋田空港(R5)	●		
	航空乗継先自体との連携プロモーション	相互イベント出展(佐賀県等)			※
	大館能代空港インバウンド促進事業	羽田-大館能代線			※
山形県	本県重点市場における東北観光推進機構との連携事業	各市場において、旅行会社やインフルエンサー招請、現地旅行博出展等を実施	●		
	-	国際チャーター便の就航を目指し、海外に対して本県観光の魅力や感染防止策を発信するとともに、県内空港への国際チャーター便を運航する航空会社や旅行商品を造成する旅行会社を支援(台湾)	●		
	高付加価値旅行者向けアドベンチャーツーリズム事業催(観光庁事業)	東北観光推進機構、JNTO、東北各県と連携し、アドベンチャーウィークを東北で開催			※
福島県	海外プロモーション事業	台湾・ベトナム・タイ・豪州に現地窓口を設置し、現地目線による情報発信、プロモーションを実施	●	●	●
	広域連携事業	東北や関東の都県と連携した「面」によるプロモーションを実施	●	●	●
	福島インバウンド誘客周遊促進事業	本県へ送客する旅行商品を造成する旅行会社に対する商品造成に係る経費の一部支援	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大

①新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み（4/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
仙台市	戦略的なプロモーション	タイと台湾を重点市場とし、市場ごとの嗜好や特性を踏まえた戦略的なプロモーションを行うことにより、外国人旅行者の更なる誘致を実施。東南アジア、欧米豪市場や首都圏からの誘客促進の取り組みも実施	●		
	戦略的なプロモーション	重点市場であるタイと台湾を中心に、東南アジアや欧米豪市場、その他新規市場の開拓も見据えながら、交流拡大や仙台空港の利用促進に向けて、各種旅行博や現地イベント、招請事業、トップセールスなどの戦略的なプロモーションを実施。このほか首都圏からの誘客事業も実施		●	※
(一社)東北観光推進機構	台湾・タイ・中国等訪日プロモーション事業	現地旅行代理店やインフルエンサーなど招請や商談会による旅行商品PR /東北全域	●		
	台湾・香港・タイ等訪日プロモーション事業	現地旅行代理店やインフルエンサーなど招請や商談会による旅行商品PR /東北全域		●	●
	欧米・豪州訪日プロモーション事業	インフルエンサー招請や「スノーリゾート東北」PR/東北全域	●	●	
	豪州訪日プロモーション事業	インフルエンサー招請や「スノーリゾート東北」PR/東北全域			●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	ANTA本部による会員実態調査	アンケート回収への協力並びに共有	●	●	●
	ANTA事務受託会社「櫛全旅」旅行事業会社利用クーポン事業	受け入れ加盟施設の増強協力	●	●	●
	特産品の紹介	ANTA事務受託会社「櫛全旅」サイト「GOORBY」の地産マルシェによる特産品の紹介	●	●	●
東北旅客船協会	ファミトリップ実施	松島・最上川・南三陸・石巻(R4、5)、八戸・宮古(R6)	●	●	
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファミツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	訪日外国人向けパスの継続設定	訪日外国人向けの周遊パス「JR EAST PASS(Tohoku area)」などの継続設定	●	●	
	訪日外国人向けパスの継続設定	東北滞在を長期でお楽しみいただける訪日外国人向け鉄道パス「JR EAST PASS(Tohoku area)10日用」をR7年5月15日利用分から設定			●
	訪日外国人向けPR	当社海外拠点をういた情報発信、市場別SNS等での配信。海外日本ファン向け会員サービス「JAPAN RAIL CLUBの立ち上げ(R4.12)。函館市、JR北海道、(一社)東北観光推進機構とともに「イーストジャパン・ゴールドルート ～はやぶさライン～」を設定(R6)。東北・北海道新幹線沿線の観光地魅力発信などで訪日外国人向けのブランド化を図る	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて10の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度より拡大する見込み。
- ✓ 事業内容は、インバウンド向けの情報発信が主流で、地域住民の観光地域づくりへの参画を促す取り組みは見受けれない。

(2)観光交流の拡大

②デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大（1/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 JNTO広域連携プロモーション事業(観光庁補助事業)	東北管内の自治体やDMOから観光資源を募集し、観光庁、JNTO、東北観光推進機構、東北運輸局でプロモーションの計画を立案。招請事業と広告事業を実施予定			●
(独)国際観光振興機構(JNTO)	【再掲】 広告(オンライン)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 メディア／インフルエンサー招請事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 インターネット(SNS／WEB)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 共同広告(オンライン)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
岩手県	いわてインバウンド推進事業	SNSを活用した情報発信	●		
	いわてインバウンド推進強化事業	OTAを活用した情報発信	●		
	インバウンドぐるっと県内周遊促進事業	SNSによる情報発信強化			●
宮城県	【再掲】 みやぎ観光デジタルプロモーション事業	インバウンド向けWEBサイト「VISIT MIYAGI」や、SNSを活用したターゲット市場向けの情報発信	●	●	※
秋田県	デジタルデータを活用した誘客促進事業	秋田県公式観光サイト「アキタファン」を活用したデジタルプロモーション	●	●	●
	【再掲】 航空会社と連携した乗継促進事業	各種割引キャンペーン	●		
	【再掲】 航空会社と連携した利用促進事業	各種割引キャンペーン、インフルエンサーを活用したORC路線PRの実施	●	●	※
	他空港と連携した利用促進事業	アイドル「TEAM SHACHI」出演による秋田空港利用促進動画撮影、SNS情報発信(中部国際-秋田空港線)	●		
山形県	観光情報の発信	庄内空港を起点とした庄内地域への観光を促進するため、多言語対応のデジタル観光パンフレットを作成		●	
	観光・交通情報の発信	庄内空港内にデジタルサイネージを設置し、旅行者に対して、前年度に作成したデジタルパンフレットによる観光情報や二次交通情報を提供予定			※
	空港の利用促進事業	山形空港サポーターズクラブアプリを運用開始し、搭乗回数に応じて空港内の売店、レストランで利用できるクーポンを配付予定			※

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ②デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大（2/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
仙台市	ウェブプロモーション(Discover SENDAI)	インバウンド向け多言語観光情報サイト(英語・簡体字・繁体字・韓国語・タイ語)で観光情報を発信	●	●	※
	ウェブプロモーション(SNS)	インバウンド向け多言語SNSで観光情報を発信。媒体は、Facebook(英語・繁体字・タイ語)、Instagram(英語)、Weibo(簡体字)。それらに加え、R7は韓国語での発信を予定	●	●	※
	デジタルマーケティング	デジタルマーケティングの実施により、東アジア、東南アジア、欧米市場等を対象にデジタル広告の配信等を実施し、結果をもとに次期ウェブプロモーションの方針に反映するなどPDCAを実施	●	●	
(一社)東北観光推進機構	【再掲】 CRMを活用した「TOHOKU Fan Club」による情報発信	観光情報やイベント情報発信とインバウンドアンケート調査による市場傾向分析/東北全域	●	●	●
	「旅東北HP」による多言語情報発信	SNSを活用した国内&海外に向け観光情報発信/国内・海外	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	東北の魅力情報発信	JNTOとの連携や自社の各種SNS媒体を用いた継続的東北の情報発信	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて16の機関が取り組みを展開。活発な活動が行われている。次年度の事業数は今年度と同規模が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、精神文化、湯治(混浴)文化、発酵食文化、日本遺産、農泊といった地域の観光資源を活かしたツアーの造成、「みちのく潮風トレイル」などのアドベンチャーツーリズムの促進などとなっている。

(2)観光交流の拡大

③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進（1/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	第2のふるさとづくりプロジェクト(観光庁補助事業)	新たな地場産業の継承・交流人口の受入仕組みづくりを行う福島市エリア等の事業に補助を実施	●	●	
	第2のふるさとづくりプロジェクト(観光庁補助事業)	国内旅行の従来型のレジャーとは違う新たな需要を掘り起こし、地域経済の活性化、交流人口・関係人口の拡大に資する取組を支援			●
	東北地方における精神文化によるSBNR層の来訪促進に向けた調査・実証事業	会津若松市内で、精神的な豊かさを求める旅行者層の来訪促進に向けガイド育成、受入体制の構築などを推進するため調査を実施	●		
	ロングストーリーによる地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査(観光庁補助事業)	金沢市から東京、山形県鶴岡市、村山市、酒田市にわたって、真の武士道精神を探求し日本の精神文化を理解を深めるツアーを造成	●		
	ストーリーで繋ぐ地域のコンテンツの連携促進事業(観光庁補助事業)	みちのく潮風トレイルにおいて、地域ならではのアドベンチャーと、文化や人々との出会いを重ね、生きることの美しさとその喜びを心に刻むツアーを造成。災害や自然とどう共存していくのかという力強い発信につなげる		●	●
	【再掲】観光再始動事業(観光庁補助事業)	東北各地の高付加価値商品を造成。郡山市では、安積蒸溜所の特別空間で海外でも有名なジャパニーズウイスキーをブレンドして試飲できる体験を造成。海外からの受け入れも継続して実施している。	●		
	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成(R5)、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行(R6)	●	●	
	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金(仮称)」の立上げ計画の作成などを予定			●
	【再掲】特別な体験の提供等によるインバウンド消費拡大・質向上推進事業(観光庁補助事業)	東北各地のインバウンド向け高付加価値商品を造成。磐梯町では、ネコマウンテンでのヘリスキーやエクストリーム温泉など、海外スキー客の長期滞在が可能となる冬季コンテンツを、周辺エリア一体となって取り組み商品化。次年度以降の自走化も予定している。		●	
	【再掲】地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業(観光庁補助事業)	地域の観光資源を活用し、より高単価な特別体験商品(プレミアムインバウンドツアー)を造成予定			●
東北地方整備局	インフラツーリズムの促進	橋、ダム、港などのインフラ(公共施設)を地域固有の財産と位置づけて、観光を通じた地域振興に資するべく、子ども向けガイドブックを作成、配布	●	●	●
	かわまちづくりの促進	地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、「河川空間」と「まち空間」が融合した賑わいのある良好な空間形成	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進（2/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北地方整備局	みなとを核としたまちづくりの促進	東北みなとオアシスネットワーク会議において、東北管内のオアシスが連携した住民参加によるフォトコンテストを開催。各オアシスで各種イベントを実施	●	●	●
	歴史まちづくりの促進 歴史的観光資源高質化支援事業	地域における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的風致の維持及び向上	●	●	●
東北農政局	農山漁村発イノベーション推進・整備事業(農泊推進型) (農林水産省 交付金事業)	農泊地域の実施体制の整備や経営の強化、食や景観の観光コンテンツとしての磨き上げ、国内外へのプロモーション、古民家を活用した滞在施設の整備等を一体的に支援/東北管内	●	●	
	地域資源活用価値創出推進・整備事業(農泊推進型) (農林水産省 交付金事業)	農泊地域の実施体制の整備や経営の強化、食や景観の観光コンテンツとしての磨き上げ、国内外へのプロモーション、古民家を活用した滞在施設の整備等を一体的に支援。また、農泊施設の避難所等としての活用を推進/東北管内			●
東北経済産業局	面的地域価値の向上・消費創出事業(中小企業庁補助事業)	店街を中心に地域の魅力・地域資源等を活かした消費の拡大と地域内経済循環の向上に繋げる事業	●		
東北地方環境事務所	東北地方環境事務所 国立公園満喫プロジェクト	10年後の混浴プロジェクト:十和田八幡平国立公園に多く残る湯治・混浴の文化を将来に渡って守っていくことを目指し、混浴が抱える課題等を解消。成果物として、国立公園における湯治(混浴)文化のストーリーを伝えるコンセプトブックを作成	●	●	
	東北地方環境事務所 みちのく潮風トレイル	青森県八戸市から福島県相馬市までの4県29市町村をつなぐ、全長1,000キロを超えるロングトレイル。名取トレイルセンターとトレイル沿線の5つのサテライト施設と連携し、ルート情報やルート沿線の施設情報を集約・発信	●	●	※
青森県	滞在型観光コンテンツ創出推進事業	市町村やDMO等と連携し、自然アクティビティや中長期滞在などのテーマ毎にコンテンツを開発	●		
	観光コンテンツ魅力向上推進事業	観光コンテンツの発掘・磨き上げ及び実証を通じて本県観光の魅力向上を推進	●	●	●
	新たな需要獲得観光コンテンツ開発事業	アウトドアアクティビティや連泊につながるコンテンツなど、観光客の滞在時間の増につなげる観光コンテンツを開発		●	
	アウトドアスポーツツーリズム推進事業	青森県内のアウトドアスポーツツーリズムの推進/県内全域		●	●
	アウトドアスポーツツーリズム推進事業	アクティビティの魅力を伝えるガイド手法の研究やアクティビティの新規開発や磨き上げの実施			●
宮城県	観光地域づくりチャレンジ事業	地域資源を活用した観光コンテンツの造成や、PR動画の作成、SNS等を活用した情報発信	●	●	※
	観光再始動事業	国宝瑞巖寺の一般非公開エリアを特別会場として、宮城県の日本酒や食材を活用した料理の提供などにより特別な体験を創出(R5)	●		
	みやぎ観光戦略受入基盤整備事業	観光客の安全な利用に配慮した自然公園施設の整備	●	●	※
	多賀城創建1300周年記念イベント支援事業	多賀城市が実施する記念事業と連携し、政庁跡全体を光の演出で再現		●	
	ナイトタイムコンテンツ創出事業	観光客の滞在時間の増加に向け、ライトアップなどのナイトタイムコンテンツを造成			※

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進（3/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
山形県	-	県内観光事業者と連携し、観光コンテンツの造成を実施。また、県内におけるFAMツアーを実施	●		
	高付加価値旅行者向け観光コンテンツ造成事業	本県ならではの魅力をストーリーとして伝えられるような観光コンテンツを造成		●	
	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業	地域が持つストーリー性を含めた「本物の価値」を提供できるコンテンツの造成			●
	【再掲】 高付加価値旅行者向けアドベンチャーツーリズム事業（観光庁事業）	東北観光推進機構、JNTO、東北各県と連携し、アドベンチャーウィークを東北で開催			※
	周遊促進・情報発信	日本遺産「出羽三山生まれかわりの旅」のストーリーの理解促進、出羽三山地域の周遊促進のための動画制作、発信	●		
	体験コンテンツの造成・情報発信	県内留学生などの若者を対象とした日本遺産「出羽三山」魅力体験・発信バスツアーの開催	●		
	周遊促進事業	山形市など日本遺産「山寺と紅花」の構成9市町をめぐるスタンプラリーの実施	●	●	●
	旅行商品の造成	日本遺産「山寺と紅花」の構成文化財等を活用した着地型旅行商品造成、販売	●	●	●
	山寺英語ガイド「Yamaderans」への支援事業	峯の浦ガイドツアーの開発・販売等への支援	●	●	●
	出羽三山地域ガイドモニター体験会等の実施・情報発信	高校生・大学生等の若者によるガイドコースの磨き上げを実施。日本遺産出羽三山サイト内に「出羽三山ガイド」ページを新設		●	●
福島県	エクストリームブランド強化等事業	本県独自のアクティビティや自然体験などをエクストリームコンテンツとして認定し、本県独自の旅行コンテンツを造成	●	●	●
	ホープツーリズム拡大推進事業	一般観光をフックとした新たな個人向けホープツーリズムによる誘客促進事業	●	●	●
	ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業	沿岸部に関する観光資源を活用したブルー・ツーリズムの推進	●	●	●
	ふくしま発酵ツーリズム推進事業	本県の豊かな発酵食文化を活用し、食と健康を結ぶ新たな付加価値のある観光コンテンツの磨き上げを実施	●	●	●
	文化財等を活用した誘客促進事業	文化財を初めとした地域資源を観光素材とし、中・長期的な戦略策手や旅行商品の磨き上げ支援等を実施	●		
	【再掲】 海外プロモーション事業	アドベンチャーツーリズムへの連携		●	●
仙台市	仙台に誇る仙台の食を活用した仙台魅力発信業務	世界で高い人気を誇るジャパニーズウイスキーと仙台・宮城の豊富な海鮮を海外にPRするため、外国人観光客向けモデルコースの企画、プロモーション動画の制作、台湾現地での体験型オンラインセミナーを実施	●		
	VTuberを活用したコンテンツの造成	北米を中心に世界で400万人の登録者を有するVTuber、がうるぐらと仙台うみの杜水族館のコラボイベントを実施。イベントに合わせて沿岸部を周遊するモデルルートの造成や、がうるぐらのYouTubeチャンネル内で上記イベントの広報及び本市の情報発信を実施。	●		

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ③地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進（4/4）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
仙台市	高所得者向け特別な体験コンテンツ創出事業	高所得者向けに地域ならではの観光資源を活用し、特別な体験が可能なコンテンツを造成・販売し、域内での滞在時間の延長・消費拡大を見据えた取り組みを実施		●	
	大阪万博来場者向けの旅行商品造成・販売事業	2025年に開催される大阪・関西万博について、これまでの本市事業で造成したコンテンツ等も活用しながら、海外からの来場者をターゲットとしたPRを行う。			※
	ミドル富裕層等をターゲットとした誘客促進	欧米豪の富裕層の誘客を見据え、ターゲット層を顧客に持つランドオペレーターを本市へ招請し、本市の訴求力のあるコンテンツを調査し、有望な観光資源の磨き上げ、コンテンツの造成を行う。造成したコンテンツは、国内・海外の欧米豪富裕層の旅行手配を行う旅行会社にセールスを行う			※
(一社)東北観光推進機構	東北の新たな旅のスタイルを創出する滞在型ロングステイ促進事業	実証モデル地域における既存コンテンツの掘り起こし、磨き上げ及びロングステイ向けの新規コンテンツ造成/東北全域	●	●	●
	東北広域周遊ドライブルート造成・販路構築事業	ターゲット別モデルドライブルート造成及びアンケート調査・モニターツアーによる磨き上げ、旅行商品造成/東北全域	●		
	高付加価値コンテンツの旅行商品化及び東北広域周遊促進事業	高付加価値観光コンテンツ商品化と多言語通訳育成とネットワーク化/東北全域		●	
	みちのく潮風トレイル高付加価値化事業	トレイルと地域食文化伝統などの高付加価値化によるロングステイ/東北全域		●	
	Adventure Week 2025	旅行会社・メディア15社を招請したモニターツアー・商談会を実施予定/東北全域			●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	旅行企画商品の紹介	ANTA事務受託会社「㈱全旅」サイト「GOORBY」の地旅による着地型旅行企画商品の紹介	●	●	●
(一社)日本旅館協会 東北支部連合会	セミナー開催	テーマ:シニア人材活用とマネジメント(加盟旅館対象)		●	
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	東北復興ツーリズムの推進	「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」の設立(R5.7)。自治体や企業とともに防災・減災学習に加えて広大な自然や独特の文化・食など東北の魅力を訴求。交流人口拡大を目指す。	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて11の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同数が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、SDGs探究学習に応える体験プログラムの情報提供や親子体験事業の実施、宿泊施設のサステナブル対応の推進などとなっている。

(2)観光交流の拡大

④サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ（1/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出（観光庁補助事業）	青森県弘前市において、バリエーション豊かな建築物を活用したガイド付きツアーの造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択	●		
	【再掲】 観光再始動事業（観光庁補助事業）	東北各地の高付加価値商品を造成。郡山市では、安積蒸溜所の特別空間で海外でも有名なジャパニーズウイスキーをブレンドして試飲できる体験を造成。海外からの受け入れも継続して実施している。	●		
	【再掲】 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（観光庁補助事業）	福島県檜枝岐村において、尾瀬の自然ガイドと連携した滞在・高付加価値化の創出や、国指定重要有形民俗文化財を活用したコンテンツ造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択。	●		
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁補助事業）	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成（R5）、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行（R6）	●	●	
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁補助事業）	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金（仮称）」の立上げ計画の作成などを予定			●
	【再掲】 地域観光新発見事業（観光庁補助事業）	福島県福島市の吾妻山麓において、自然と共生する三大五葉松のひとつ「吾妻五葉松」と、清らかな水を原料に多様な酒を醸造する5人の蔵元が手がける「酒造り」の2大資源を柱に観光コンテンツ造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択。		●	
	【再掲】 特別な体験の提供等によるインバウンド消費拡大・質向上推進事業（観光庁補助事業）	東北各地のインバウンド向け高付加価値商品を造成。磐梯町では、ネコママウンテンでのヘリスキーやエクストリーム温泉など、海外スキー客の長期滞在が可能となる冬季コンテンツを、周辺エリア一体となって取り組み商品化。次年度以降の自走化も予定している。		●	
	持続可能な観光推進モデル事業（観光庁補助事業）	東松島市を主な実施地域とする東松島版歩道学による観光商品開発・磨き上げ事業をモデル事業に採択		●	
	【再掲】 地域観光魅力向上事業（観光庁補助事業）	将来に亘って持続的に地方誘客が促進されるよう、地域資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発から、適切な販路開拓や情報発信の総合的な支援を行い、中長期に亘って販売可能なビジネスモデルづくりを支援			●
	【再掲】 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業（観光庁補助事業）	地域の観光資源を活用し、より高単価な特別体験商品（プレミアムインバウンドツアー）を造成予定			●
青森県	観光産業基盤強化事業	サステナブル、SDGsに関するセミナーの開催やモデル地域におけるサステナブルに関する課題解決	●		
	「サステナブル観光県青森」推進事業	宿泊施設におけるサステナブル対応を推進するため、コンサルティングの実施と取組を推進するための経費を補助		●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ④サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ（2/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
宮城県	教育旅行誘致促進事業	教育旅行等コーディネート支援センターを運営し、SDGs探究学習や震災・防災・減災学習などの各種体験プログラムの情報提供を実施	●	●	※
秋田県	アウトドアアクティビティを活用した誘客促進事業	県立自然公園等の周辺の豊かな自然を生かしたアクティビティの情報発信を行う		●	●
山形県	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業	地域が持つストーリー性を含めた「本物の価値」を提供できるコンテンツの造成			●
	親子体験事業の実施・発信	出羽三山文化・紅花文化に係る親子体験事業の実施及び体験の様子を番組仕立ての動画にまとめ、協議会ポータルサイトで発信	●	●	●
福島県	【再掲】 ホープツーリズム拡大推進事業	一般観光をフックとした新たな個人向けホープツーリズムによる誘客促進事業	●	●	●
(一社)東北観光推進機構	東北における「深い学び」を実現するコンテンツを活用した教育旅行促進事業	東北ならではの「深い学び」を実施するためのコンテンツの造成とその体験モニターツアー実施/東北全域	●	●	●
(一社)日本旅行業協会東北支部	環境保全活動(清掃活動)の実施	JATA東北支部会員を対象に実施/気仙沼大島(R5)、七ヶ浜(R6)	●	●	●
	商談会の実施	東北鉄道協会及び東北地域旅客船事業者(主催東北運輸局)	●	●	●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	旅行企画商品の造成	ANTA事務受託会社「(株)全旅」サイト「GOORBY」の地旅による着地型旅行企画商品の造成	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】 東北復興ツーリズムの推進	「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」の設立(R5.7)。自治体や企業とともに防災・減災学習に加えて広大な自然や独特の文化・食など東北の魅力を訴求。交流人口拡大を目指す。	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて4つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同数が見込まれる。
- ✓ ワークেশョンの推進に資する事業を行っている。

(2)観光交流の拡大

⑤働く場所を選ばない勤務の日常化、一般化と観光産業の事業構造の変革

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
宮城県	宮城ワーケーション情報環境整備推進事業	県内のワークスペース情報を一元化したポータルサイトを構築・運営	●	●	※
山形県	-	県インバウンド向け観光ホームページ「STAY YAMAGATA」内に、通訳ガイドを希望する旅行者と県内通訳案内士をつなぐマッチングページを設置	●		
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	テレワーク・ワーケーションの推進	JRE Workation Passの設定、利用促進	●	●	●
	STATION WORK・TRAIN DESK(新幹線オフィス車両)の推進		●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて10の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同規模を見込む。
- ✓ 事業内容は、地域の多様な産業と連携したツアー造成、国内向けプロモーションの実施などとなっている。

(2)観光交流の拡大

⑥観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備（1/3）

●：実施 ※：予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	広域周遊観光促進のための観光地域支援事業（観光庁補助事業）	東北6県・新潟県を事業実施地域として、DMP、CRMを活用し、メインターゲットを設定し、自然・歴史文化・食等を活用した体験コンテンツや、ターゲット別モデルドライブルート造成、海外OTAを活用するなどの販路拡大や、プロモーション資材（HP内への特設ページ設置等）の作成を実施	●		
	【再掲】 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出（観光庁補助事業）	青森県弘前市において、バリエーション豊かな建築物を活用したガイド付きツアーの造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択	●		
	【再掲】 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（観光庁補助事業）	福島県檜枝岐村において、尾瀬の自然ガイドと連携した滞在・高付加価値化の創出や、国指定重要有形民俗文化財を活用したコンテンツ造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択。	●		
	【再掲】 観光再始動事業（観光庁補助事業）	東北各地の高付加価値商品を造成。郡山市では、安積蒸溜所の特別空間で海外でも有名なジャパニーズウイスキーをブレンドして試飲できる体験を造成。海外からの受け入れも継続して実施している。	●		
	国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業（観光庁補助事業）	山形県蔵王スキー場において、スキー場の魅力向上のためレストハウスの改修や休止リフトの撤去、多言語・キャッシュレスの自動発券機の導入等を実施	●		
	国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業（観光庁補助事業）	福島県会津磐梯エリアにおいて、スキー場の魅力向上のため降雪機の導入やシャトルバスの整備、多言語案内看板の設置等を実施		●	
	国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業（観光庁補助事業）	インバウンド需要を取り込む意欲やポテンシャルの高い地域における国際競争力の高いスノーリゾートの形成を促進			●
	ブルーツーリズム推進支援事業（観光庁補助事業）	岩手県陸前高田市においてブルーフラッグ認証に向け、車椅子利用者のための仮設設備や水陸両用車椅子等の設置によるバリアフリー化、認証基準達成に必要な水質調査や車椅子での海水浴体験会等を実施	●		
	ブルーツーリズム推進支援事業（観光庁補助事業）	宮城県仙台市において、震災後初の深沼海水浴場の再開のほか、海水浴場ポータルサイトの公開や、WEB・TV・新聞等での広告、周辺ガイドマップの作成・配布など、様々なプロモーションを展開。		●	
	ブルーツーリズム推進支援事業（観光庁補助事業）	ALPS 処理水の海洋放出による風評への対策として、海の魅力を高め、国内外からの誘客と観光客の定着を図る			●
	歴史的資源を活用した観光まちづくり事業（観光庁補助事業）	青森県弘前市において、外国人観光客の寺泊や寺院体験に向け、建物の改修、HPや看板の多言語化、Wi-FiをはじめとするIT環境の整備を実施※補助事業	●		
	歴史的資源を活用した観光まちづくり事業（観光庁補助事業）	山形県鶴岡市において、まちづくり会社（準備会）の機能強化と会社設立を目指すため協議会の開催、ストーリーの掘り起こしを目的に住民とのワークショップ等を実施※調査事業（モデル創出）		●	
	歴史的資源を活用した観光まちづくり事業（観光庁補助事業）	城や寺社等における宿泊・滞在型コンテンツを軸に、周辺の資源を面的に活用した観光コンテンツの造成等を図り、魅力的な観光まちづくりを推進			●

注）事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大

⑥観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備（2/3）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業(観光庁補助事業)	山形県鶴岡市において、モデルツアーの造成やファミツアーの実施、ベジタリアンやビーガン等の多様な食習慣とターゲットの研究、文化財を活用したプレミアムダイニング等を実施	●		
	地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業(観光庁補助事業)	岩手県久慈市において、「山形村短角牛」や郷土食「まめぶ」をインバウンドを意識してアレンジしたメニュー開発、農家・牧場・炭焼き小屋等を回り食の体験を行うツアー造成を実施		●	
	「食」の力を最大活用したガストロノミーツーリズム推進事業(観光庁補助事業)	外国人旅行者から期待・需要が高い「食」について魅力的なガストロノミーツーリズムコンテンツを造成し、インバウドを含めた地方誘客を促進			●
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成(R5)、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行(R6)	●	●	
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないいく基金(仮称)」の立上げ計画の作成などを予定			●
	オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業】(観光庁補助事業)	混雑の分散を目的とした予約システム構築や調査事業を行う事業を実施		●	●
	地方運輸局等によるDMOの伴走支援事業	個別DMOを支援対象として、組織としてのありたい姿・ビジョンを専門家と検討・策定。ありたい姿の実現に向けて課題を明確化し、各課題に対する打ち手を検討し、3カ年アクションプラン案を策定		●	●
	宿泊施設インバウンド対応支援事業(観光庁補助事業)	訪日外国人旅行者が安心して快適に滞在できる環境を整備するため、廊下、共同浴場におけるスロープと手すりの設置も補助を実施		●	
	地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業(観光庁補助事業)	東北6県・新潟県を事業実施地域として、旅行自体の目的となる高付加価値観光コンテンツについて、ガイドと組み合わせて四季・テーマに応じて広域周遊モデルコースに組み入れて旅行商品化を実施。また、造成したモデルコース、コンテンツを流通させるための販路構築として旅行会社及びランドオペレーター招請・商談会を実施		●	
	地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業(観光庁補助事業)	持続可能なあり方で旅行者の地域周遊・長期滞在を促進するため、観光地域づくり法人(DMO)が中心となり、地域が一体となって行う取組に対して総合的に支援			●
	【再掲】 地域観光新発見事業(観光庁補助事業)	福島県福島市の吾妻山麓において、自然と共生する三大五葉松のひとつ「吾妻五葉松」と、清らかな水を原料に多様な酒を醸造する5人の蔵元が手がける「酒造り」の2大資源を柱に観光コンテンツ造成と販売に向けた取組を実施。ほか東北で多数採択。		●	
	【再掲】 特別な体験の提供等によるインバウンド消費拡大・質向上推進事業(観光庁補助事業)	東北各地のインバウンド向け高付加価値商品を造成。磐梯町では、ネコママウンテンでのヘリスキーやエクストリーム温泉など、海外スキー客の長期滞在が可能となる冬季コンテンツを、周辺エリア一体となって取り組み商品化。次年度以降の自走化も予定している。		●	
	【再掲】 地域観光魅力向上事業(観光庁補助事業)	将来に亘って持続的に地方誘客が促進されるよう、地域資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発から、適切な販路開拓や情報発信の総合的な支援を行い、中長期に亘って販売可能なビジネスモデルづくりを支援			●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大

⑥観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備 (3/3)

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業(観光庁補助事業)	地域の観光資源を活用し、より高単価な特別体験商品(プレミアムインバウンドツアー)を造成予定			●
東北地方整備局	震災伝承ネットワーク協議会の設立	震災伝承をより効果的・効率的に行うためにネットワーク化に向けた連携を図り、交流促進や地域創生とあわせて、地域の防災力強化に資することを目的に設立。伝承施設の情報発信等を実施。	●	●	●
青森県	-	青森県観光戦略の策定と戦略に基づく取組の推進	●	●	●
	青函周遊観光促進事業	青函の周遊を促進する事業/県内全域		●	●
宮城県	宮城オルレ推進事業	新規コース造成支援や既存コースの利用活用促進に向けたプロモーションの実施	●	●	※
秋田県	冬こそ秋田だ！秋田の冬旅推進事業	季節による繁閑差解消に向けた取組を実施	●		
	冬季誘客促進事業	JRの重点販売地域の指定と連携し、季節による繁閑差解消に向けた取組を実施(R6)、季節による繁閑差解消に向けた取組を実施(R7)		●	●
山形県	商品造成を通じた地域間連携	「染と織」をテーマにした4つの日本遺産地域(群馬県、徳島県、東京都八王子市、山形県)による連携商品の造成	●	●	●
福島県	観光関連団体連携推進事業	県観光復興推進委員会として観光産業の更なる観光振興に向けた全県の意識共有を図るため、官民一体となった施策の取組やプロモーション活動を展開	●	●	●
	観光コンテンツブラッシュアップ支援事業	地域の観光コンテンツの磨き上げに係る一連のサポートの実施	●	●	
	【再掲】 広域連携事業	東北や関東の都県と連携した「面」によるプロモーションを実施	●	●	●
	ふくしまデスティネーションキャンペーン事業	JRグループと、R7.4～6にプレ、R8.4～6にデスティネーションキャンペーン事業を実施			●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	令和8年度事業「第20回国内観光活性化フォーラムinみやぎ」実施計画準備	-		●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	大型観光キャンペーンの展開	R4 4～6月 南東北、7～9月 北東北 R5 4～6月 津軽、9～11月 福島 R6 1～3月 岩手、4～6月 山形、10月～12月 岩手、12～2月 秋田 R7 4～6月 ふくしまプレデスティネーションキャンペーン	●	●	●
	地域共創の取り組み推進(伴走型地域づくり)	第1回 地域共創アワードの実施/青森(R6)、地域共創アワードの継続実施(R7)	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて12の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度よりやや減少する見込み。
- ✓ 事業内容は、海外旅行への機運醸成に資するパスポート取得補助や海外教育旅行への助成、友好交流の強化などとなっている。

(2)観光交流の拡大

⑦アウトバウンド・国際相互交流の促進（1/3）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
(独)国際観光振興機構 (JNTO)	【再掲】 広告(オンライン／オフライン)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 メディア／インフルエンサー招請事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 インターネット(SNS／WEB)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 セミナー・ネットワーキングイベント(旅行関係者／メディア)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 セミナー・ネットワーキングイベント(一般消費者)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 旅行博・商談会(旅行関係者)出展事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 旅行博・イベント(一般消費者)出展事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 旅行会社(造成担当／販売担当)招請事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
	【再掲】 共同広告(オンライン／オフライン)事業	訪日マーケティング戦略に基づく、重点22市場を中心とした国内外でのVJ(ビジット・ジャパン)施策実施	●	●	※
青森県	済州・台湾友好交流基盤強化事業	本県と協定を締結している台中市、台南市及び済州特別自治道との友好交流の強化及び民間の交流促進を図ることで、交流を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	●	●	
	海外協定地域等との交流推進事業	本県と協定を締結している台中市、台南市、高雄市、済州特別自治道、メーン州(アメリカ)、サンタ・カタリーナ州(ブラジル)との友好交流の強化及び民間の交流促進を図ることで、交流を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる			※
宮城県	教育旅行誘致促進事業	宮城県内で宿泊を伴う教育旅行を実施する学校に対するバス経費を助成	●	●	※
	ツーウェイツーリズム推進事業	県内の中学校・高校等が実施する海外教育旅行に要する経費を助成		●	※
秋田県	台湾便交流促進事業	台湾便の安定的な運航の継続に向けた、県民利用の促進や受入環境の整備		●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ⑦アウトバウンド・国際相互交流の促進（2/3）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
山形県	地域間交流推進事業	県内の団体が実施する海外で行う観光交流に係る経費の一部を支援し、観光交流を通じた相互交流の拡大を図る	●	●	※
	山形県民パスポート取得促進事業	県民の新規パスポート取得を補助し、海外渡航を促進	●	●	※
	出入国手続きの円滑化	国際チャーター便の就航の際に通訳を手配し、円滑な出入国手続となるよう協力を行ったもの。R5年度国際チャーター便運航実績:山形空港92便、庄内空港6便。R6は予算化したものの、国際チャーター便の就航見込みが無いため、通訳の手配実績なし	●		※
福島県	国際教育旅行誘致促進事業	国際教育旅行誘致のため、現地での教育旅行セミナーの実施や教育旅行関係者の招請等を実施	●	●	●
仙台市	タイフェスティバル・台湾交流イベント	本市インバウンド重点市場であるタイ・台湾の文化発信やグルメの提供、地域ならではの体験等を提供するイベントを市内で開催することで、市民の興味喚起を図り、アウトバウンドの促進を図る取り組みを実施。	●	●	※
	アウトバウンド促進事業	仙台市内の祭りやイベント等でのタイ・台湾などのPRブースの出展や、地元テレビ局の人気ローカル番組とタイアップした旅番組の制作および番組内容にまつわるツアー商品の造成、アウトバウンドに関する調査の実施により、仙台空港発着の国際定期便の搭乗率向上及び定期便の路線維持・拡大を図る取り組みを実施。		●	
	アウトバウンド促進事業	仙台市内の祭りやイベント等でのタイ・台湾・香港などのPRブースの出展や、地元テレビ局の人気ローカル番組とタイアップした旅番組の制作および番組にまつわるツアー商品の造成を実施予定			※
(一社)東北観光推進機構	日本東北遊楽日	セミナー・商談会開催、招請事業/台湾	●	●	●
	東北・新潟発「愛台湾」応援キャンペーン	観光を通じた被災地域への応援メッセージの発出。キャンペーン商品造成とスポーツイベント実施/東北⇄台湾相		●	
(一社)日本旅行業協会東北支部	海外旅行セミナー(仙台空港国際化利用促進協議会事業)への参加協力	開催実績/盛岡・山形・福島(R5)、仙台・盛岡・山形・福島(R6)	●	●	●
	航空会社・各国観光公社主催のセミナーへの積極的な参加協力	-	●	●	●
	パスポート取得費用サポートキャンペーン(JATA本部事業/全国展開)の実施	パスポート取得費用サポート	●		●
	仙台空港国際線利用促進 キャンペーン(宮城県事業/JATA東北支部受託)	パスポート取得費用サポート	●		
	海外旅行再開プロジェクト(JATA本部)	仙台市内にて街頭PR活動を実施	●		
	東北観光推進機構、宮城県、仙台市等海外旅行誘客事業への協力	現地イベントへ参加および訪問団同行/タイ・台湾(～R6)	●	●	●
	台湾ブラッシュアップ研修ツアー(JATA東北支部事業)	国際線復活に合わせ、JATA東北支部会員の研修ツアーを実施/台湾	●		

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(2)観光交流の拡大 ⑦アウトバウンド・国際相互交流の促進（2/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
(一社)日本旅行業協会東北支部	仙台⇄ソウル国際線利用パスポート取得キャンペーン(韓国観光公社事業/JATA東北支部受託)への協力	パスポート取得費用サポート/韓国	●		
	PR活動	韓国観光公社と共催で仙台市内商店街での街頭PRを展開	●		
	東北・新潟発”愛台湾”キャンペーン(東北観光推進機構事業)への協力	台湾観光庁と共催で仙台市内商店街での街頭PRを展開		●	
	仙台空港旅フェス！(仙台国際空港事業)への協力	旅行セミナー、旅行説明会の実施		●	
日本ホテル協会東北支部	海外販路開拓活動	現地AGTやイベント出展等		●	
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

その他

東北運輸局	地域・日本の新たなレガシー形成(観光庁補助事業)	青森県弘前市において、歴史的建造物を利活用した分散型ホテル構想、実現可能性調査やアクションプランの策定を実施。また、その実現に向け関係者の合意形成や実務的な協議を目的とした検討会や調査を実施	●		
	地域・日本の新たなレガシー形成(観光庁補助事業)	福島県柳津町において、奥会津の保存食を活用した伝統食と集落古民家群を核とした古民家活用型の集落ガストロノミーの形成に向け、その実現可能性の調査やプラン作成等を実施。青森県弘前市においても前年度の調査を元に実現に向けた調査を継続		●	
	地域・日本の新たなレガシー形成(観光庁補助事業)	将来にわたり国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながる地域・日本のレガシーとなる観光資源の形成を促進			●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	インバウンド商談会実施計画	令和8年度事業「第20回国内観光活性化フォーラムinみやぎ」インバウンド商談会実施計画		●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて7つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同数を見込む。
- ✓ 事業内容は、リーフレット等による啓発活動の実施、キャッシュレス化支援などとなっている。

(3)安全・安心の確保

①新しい旅のスタイルの定着と感染症対策の徹底

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	ユニバーサルツーリズム促進事業(観光庁補助事業)	障がい者種別等に応じた旅行商品造成に資するモデルツアーを実施し商品組成手法を共有(山形県天童市等のエリアで実施)	●		
	インバウンド受入環境整備高度化事業(観光庁補助事業)	山形県鶴岡市の観光スポットにおいて、観光消費額向上につながる長期滞在を意識した公衆トイレの洋式化・多言語案内板の設置などを実施することで、市内各所をつなぐ域内ネットワークの強化に向けて取り組む		●	
	地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業(観光庁補助事業)	危機管理体制の構築、多言語での情報発信、医療機関におけるキャッシュレス決済等安全・安心な旅行環境整備に補助			●
宮城県	観光地周遊促進事業	AIカメラ等の活用により、駐車場や観光施設の混雑状況を可視化し、デジタルマップで情報発信	●	●	※
	宿泊施設感染防止対策等強化事業	県内宿泊施設に対して、消毒液や空気清浄機等の購入費用を助成(R4)	●		
	安心な観光地づくり推進事業	感染予防対策の徹底を図り、安定的な観光需要の回復につなげるため、リーフレット等を作成・配布し、観光客に対する普及啓発を実施(R4)	●		
秋田県	新たな旅を提案するPR事業	新しい旅行スタイルを提案するパンフレットの制作	●	●	●
	新しい旅行スタイルに対応したコンテンツ商品化支援事業	関係者によるワークショップや造成したコンテンツのモニターツアーの実施などによりコンテンツ造成に向けて支援	●		
福島県	インバウンド受入環境促進事業	多言語・キャッシュレス対応等に関する受入環境啓発の実施		●	
	【再掲】 訪日観光客受入体制整備事業	OTA及びGBPへの掲載支援、県多言語サイトへの宿泊施設等情報掲載			●
全国レンタカー協会 東北地区連合会	感染症対策の実施	消毒済であるレンタカーに「消毒済」のタグを表示		●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】 テレワーク・ワーケーションの推進	JRE Workation Passの設定、利用促進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて6つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同数を見込む。
- ✓ 事業内容は、訪日外国人旅行者に向けた災害情報の伝達環境整備などとなっている。

(3)安全・安心の確保
②デジタル技術を活用した災害・事故等発生時の関係者の情報共有、旅行者への情報提供の円滑化

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4~5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業(観光庁補助事業)	山形県尾花沢市の観光スポットにおいて、訪日外国人旅行者に翻訳用タブレット端末やスマートフォンで災害情報の提供をする無料公衆無線LAN整備に補助を実施		●	
	【再掲】 地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業(観光庁補助事業)	更なる地方誘客促進に向けて、訪日外国人旅行者が日本各地を安全・安心に訪れることができる旅行環境整備を支援する			●
	訪日観光客の滞在エリアに応じた観光情報・緊急情報の提供一元化に関する実証事業	仙台市東部沿岸部において、訪日客へ災害時の情報伝達環境整備のため平時は多言語対応ガイドとして、災害時には滞在エリアに応じた緊急情報に切り替わり避難情報等を一元化して提供する媒体の効果実証を実施		●	
	訪日観光客の滞在エリアに応じた観光情報・緊急情報の提供一元化に関する実証事業	R6実証事業により発災までの情報発信を中心に検証を進めたが、R7事業では発災後の旅行者の二次アクションまで整理することを想定			※
東北地方整備局	情報通信環境の整備	各「道の駅」において、無料公衆無線LANを整備	●	●	●
福島県	【再掲】 受入体制整備事業	多言語WEBサイトの運用	●	●	●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	-	ANTA指定保険代理店「㈱旅行ビジネスサポート」商品によるANTA会員取扱旅行商品・お客様への保証の充実	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファミツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	多言語による運行情報の共有	HP、SNS等による多言語での運行情報提供	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて6つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同数を見込む。
- ✓ 事業内容は、風評払拭に向けた正確な情報発信などとなっている。
- ✓ なお、「その他」としては、観光レジリエンス強化の取り組みも進められている。

(3)安全・安心の確保

③正確な情報発信による風評被害対策の促進

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	地方誘客促進に向けたインバウンド安全・安心対策推進事業(観光庁補助事業)	訪日外国人患者受け入れ機能強化のため仙台市の医療機関で行う多言語案内・翻訳用タブレット端末の導入、入院案内の二言語化、ホームページの多言語化に補助を実施		●	
宮城県	【再掲】 安心な観光地づくり推進事業	感染予防対策の徹底を図り、安定的な観光需要の回復につなげるため、リーフレット等を作成・配布し、観光客に対する普及啓発を実施(R4)	●		
福島県	海外風評払拭情報発信事業	東日本大震災及びALPS処理水による風評等の影響が残る海外市場に対する正確な情報発信	●	●	●
	【再掲】 ホープツーリズム拡大推進事業	一般観光をフックとした新たな個人向けホープツーリズムによる誘客促進事業	●	●	●
	【再掲】 ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業	沿岸部に関する観光資源を活用したブルー・ツーリズムの推進	●	●	●
	大阪/関西万博を活用した風評払拭事業	大阪・関西万博の機会に本県の現状を正しく伝えることで風評払拭・風化対策を行う			●
(一社)全国旅行業協会 東北地方支部(ANTA)	-	ANTA指定保険代理店(株)旅行ビジネスサポート」安全サポートによる重大事故支援制度の活用	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファミツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】 東北復興ツーリズムの推進	「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」の設立(R5.7)。自治体や企業とともに防災・減災学習に加えて広大な自然や独特の文化・食など東北の魅力を訴求。交流人口拡大を目指す。	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

その他

東北運輸局	インバウンド安全・安心対策推進事業(観光庁補助事業)	仙台市の災害時等における観光危機管理マニュアル作成に補助を実施	●		
仙台市	観光レジリエンスサミット開催支援・仙台市観光危機管理マニュアル作成	仙台市で開催された観光庁主催の観光レジリエンスサミットにおいて、受け入れ環境やおもてなし環境の整備、歓迎事業の企画・運営等を行い、会合の円滑な開催を支援。本サミットの開催を契機として、危機発生時の観光客への情報発信や外国人への対応等について改めて整理した仙台市観光危機管理マニュアルを作成		●	
	仙台市観光危機管理マニュアル周知・観光レジリエンス強化	令和6年に策定した観光危機管理マニュアルおよび付録として作成した仙台市内の災害に関する情報一覧を観光関連事業者等に周知するとともに、宿泊事業者のBCP(事業継続計画)策定等、観光危機対策強化に向けた支援事業として、補助制度の創設や啓発イベントの実施を予定			●
東北旅客船協会	-	東北全事業者を対象に安全総点検を実施	●	●	●
	-	東北全事業者を対象に船客傷害責任保険限度額の引き上げを実施		●	
	-	事業者自らの安全情報を自社HP等で公表することを実施			●

(4)個別事業の概要

- ✓「①小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築」について、実施・予定も含めて3つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同規模が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、宿泊施設等の改修による高付加価値化や生産性向上に資するDX化の推進に係る取り組み支援などとなっている。
- ✓「②リモートワークによる都市部IT人材の活用」に取り組む機関は2つ機関が取組みを実施。次年度の事業数は今年度と同数が見込まれており、ワーケーション商品の販売は次年度も実施予定されている。

(4)観光産業の再生と人材育成

①小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業(観光庁補助事業)	宿泊施設等の改修等ハード面の取組や面的なDX化によるソフト面の取組に補助を行う事業で、東北各地で採択を受けた地域に伴走支援を実施	●	●	
	【再掲】ユニバーサルツーリズム促進事業(観光庁補助事業)	障がい者種別等に応じた旅行商品造成に資するモデルツアーを実施し商品組成手法を共有(山形県天童市等のエリアで実施)	●		
福島県	【再掲】インバウンド受入環境促進事業	多言語・キャッシュレス対応等に関する受入環境啓発の実施		●	
	【再掲】訪日観光客受入体制整備事業	OTA及びGBPへの掲載支援、県多言語サイトへの宿泊施設等情報掲載			●
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

②リモートワークによる都市部IT人材の活用

(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】テレワーク・ワーケーションの推進	JRE Workation Passの設定、利用促進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて8つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同規模を見込む。
- ✓ 事業内容は、旅行者の滞在時間増加につながるコンテンツ開発、磨き上げなどとなっている。

(4)観光産業の再生と人材育成 ③地域独自のストーリーの提供と連携した宿泊の高付加価値化

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成(R5)、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行(R6)	●	●	
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金(仮称)」の立上げ計画の作成などを予定			●
青森県	【再掲】 滞在型観光コンテンツ創出推進事業	市町村やDMO等と連携し、自然アクティビティや中長期滞在などのテーマ毎にコンテンツを開発	●		
	【再掲】 新たな需要獲得観光コンテンツ開発事業	アウトドアアクティビティや連泊につながるコンテンツなど、観光客の滞在時間の増につなげる観光コンテンツを開発		●	
	【再掲】 アウトドアスポーツツーリズム推進事業	アクティビティの魅力を伝えるガイド手法の研究やアクティビティの新規開発や磨き上げの実施			●
	【再掲】 観光コンテンツ魅力向上推進事業	観光コンテンツの発掘・磨き上げ及び実証を通じて本県観光の魅力向上を推進	●	●	●
宮城県	ガイド人材確保支援事業	県内の学生、全国通訳案内士、ボランティアガイド等を対象として、インバウンド対応等に関する研修会等を開催	●	●	※
	観光地の空間的魅力創出事業	高付加価値化を目的とした宿泊・観光施設の改修又は廃屋の撤去に要する経費を助成	●	●	
山形県	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業	地域が持つストーリー性を含めた「本物の価値」を提供できるコンテンツの造成			●
福島県	【再掲】 ホープツーリズム拡大推進事業	一般観光をフックとした新たな個人向けホープツーリズムによる誘客促進事業	●	●	●
	【再掲】 ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進事業	沿岸部に関する観光資源を活用したブルー・ツーリズムの推進	●	●	●
仙台市	【再掲】 高所得者向け特別な体験コンテンツ創出事業	高所得者向けに地域ならではの観光資源を活用し、特別な体験が可能なコンテンツを造成・販売し、域内での滞在時間の延長・消費拡大を見据えた取り組みを実施		●	
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファミツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	TRAIN SUITE 四季島の運行	東北エリアをはじめとした東日本をめぐる高付加価値商品「クルーズトレイン『TRAIN SUITE 四季島』」の運行	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて9つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同数を見込む。
- ✓ 事業内容は、ガイド人材の育成のほか、高度な専門人材の育成に資する大学での寄付講座の展開などとなっている。

(4)観光産業の再生と人材育成 ④エコツーリズムやジオツーリズムなど持続可能な観光地経営、コンテンツ造成に係る人材の創出

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成(R5)	●		
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金(仮称)」の立上げ計画の作成などを予定			●
東北地方環境事務所	生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム地域活性化支援事業)(環境省交付金)	奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会による奥入瀬渓流エコツーリズム推進全体構想の策定・申請、新たなモビリティの導入の検討・実証実験、ガイド団体によるルールづくりに向けた検討、ネイチャーガイドの育成に取り組む	●	●	
仙台国税局	通訳案内士向け酒蔵見学会	福島県内に在籍する全国通訳案内士に酒類や酒蔵の魅力を知ってもらうとともに、将来接する外国人観光客等にその魅力を発信していただくことによって、インバウンド促進につなげていくことなどを目的に、お酒の知識に関する講義、酒蔵見学、ソムリエによるフードペアリング講義を実施		●	
青森県	【再掲】 アウトドアスポーツツーリズム推進事業	青森県内のアウトドアスポーツツーリズムの推進/県内全域		●	●
宮城県	【再掲】 ガイド人材確保支援事業	県内の学生、全国通訳案内士、ボランティアガイド等を対象として、インバウンド対応等に関する研修会等を開催	●	●	※
山形県	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業	地域内関係者間の関係構築、ガイド力向上に向けたセミナー等の開催			●
福島県	【再掲】 受入体制整備事業	多言語現地ガイドの育成等	●	●	●
	ホープツーリズム運営・基盤整備事業	ホープツーリズムの推進のための人材育成、教育旅行プログラムの磨き上げ、多言語ガイド育成等	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	産学連携寄付講座	東北エリアの大学などで観光に関するJR東日本寄付講座を展開	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて10の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度より減少する見込み。
- ✓ 事業内容は、生産性向上や外国人材の受入促進に向けたセミナーの開催、大学生等若者へのアプローチなどとなっている。

(4)観光産業の再生と人材育成

⑤観光地・観光産業における人手不足の解消（1/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業（観光庁補助事業）	宿泊施設等の改修等ハード面の取組や面的なDX化によるソフト面の取組に補助を行う事業で、東北各地で採択を受けた地域に伴走支援を実施	●	●	
	宿泊施設における調理部門の人手不足対策事業	宿泊施設調理人という職業の魅力発信のため調理実演披露を含むリクルート説明会実施、現状の課題分析のため基礎調査を実施		●	※
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁補助事業）	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成（R5）、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行（R6）	●	●	
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁補助事業）	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金（仮称）」の立上げ計画の作成などを予定			●
東北経済産業局	【再掲】 トラベルテックセミナー	自治体を中心にDMO・宿泊事業者、関連団体との連携事例を紹介するとともに、DMO、関連団体向けに、活用できる施策を紹介	●	●	
	【再掲】 トラベルテックセミナー	宿泊事業者・DMO、自治体、関連団体向けに、活用できる施策の紹介や実際の施策活用事例を紹介			●
仙台国税局	【再掲】 通訳案内士向け酒蔵見学会	福島県内に在籍する全国通訳案内士に酒類や酒蔵の魅力を知ってもらうとともに、将来接する外国人観光客等にその魅力を発信していただくことによって、インバウンド促進につなげていくことなどを目的に、お酒の知識に関する講義、酒蔵見学、ソムリエによるフードペアリング講義を実施		●	
青森県	宿泊施設生産性向上支援事業	宿泊業の生産性向上のためのコンサルティングやセミナーを実施	●		
	「サステナブル観光県青森」推進事業	宿泊施設を中心としたエリア全体の生産性向上を図る方法の研究とモデル地域における実証を実施		●	●
岩手県	いわての観光業魅力向上事業	首都圏の学生等にアルバイトの機会を提供し、就業先での関係者との交流を実施		●	●
宮城県	【再掲】 ガイド人材確保支援事業	県内の学生、全国通訳案内士、ボランティアガイド等を対象として、インバウンド対応等に関する研修会等を開催	●	●	※
	宿泊業人材確保支援	宿泊施設における実習機会の創出や就職定着を支援		●	※

注）事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(4)観光産業の再生と人材育成 ⑤観光地・観光産業における人手不足の解消（2/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
山形県	外国人材受入促進事業	セミナー実施等により外国人材の受入促進に向けた機運を醸成		●	
	外国人材受入促進事業	観光業の高付加価値化を図るため、外国人材の受入機会創出や受入体制整備に向けた支援			※
	関係者意見交換会の実施	「出羽三山地域ガイド団体情報交換会」の開催	●	●	
	体験事業の実施	地元中学生参画による山寺地区での紅花栽培等の実施	●	●	●
	出羽三山地域ガイドモニター体験会等の実施	高校生・大学生等の若者によるガイドコースの磨き上げを実施		●	●
	ワークショップの開催	山形県紅花振興協議会と日本遺産「山寺と紅花」推進協議会連携による「紅花振興ワークショップ」の開催		●	●
日本ホテル協会東北支部	人手不足対策	東北運輸局と連携し人手不足対策事業のイベントの開催		●	
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】産学連携寄付講座	東北エリアの大学などで観光に関するJR東日本寄付講座を展開	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

その他

東北運輸局	共創モデル実証プロジェクト	地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)によりその維持・活性化に取り組む事業を支援	●		
	共創・MaaS実証プロジェクト(モビリティ人材育成事業)	・津軽圏域における地域交通に関する課題解決スキル育成事業 ・公共交通の利用促進に向けた交通と観光に関する情報発信人材育成事業 ・八戸圏域における『コンテンツ×モビリティ』の共創人材育成事業		●	
	「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(モビリティ人材育成事業)	モビリティ人材の育成に関する仕組みの構築や運営を行う事業			●
仙台市	インバウンド対応力向上に向けた事業者支援事業	インバウンド誘致に意欲的な市内観光関連業界を選定し、インバウンド向けの受入環境整備やコンテンツ販売のノウハウ習得を支援	●	●	※
	外国人観光客対応力向上セミナー開催事業	インバウンド客の様々なニーズに対応する実践的な受入環境の充実を目指し、飲食・物販・宿泊・交通を主な対象とした市内観光関連事業者の現場スタッフ及びマネジメント層向けのセミナーを実施	●	●	※
(一社)日本旅行業協会東北支部	JATA東北支部会員対象の社員研修会(次年度内定者含む)の実施	仙台空港・仙台市近郊、東松島(R5)、村田・山元(R6)	●	●	●
東北旅客船協会	小学生向け旅客船の体験乗船	塩竈・気仙沼・小名浜	●	●	
	海技者セミナー参加(仙台)	-	●	●	

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて6つの機関が取り組みを展開。事業数は今年度大きく増えたものの、次年度は減少する見込み。
- ✓ 事業内容は、需要分散の推進、自然環境の保全や渋滞対策に係る事業、宿泊税の導入に向けた取り組みなどとなっている。

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上

①持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む) (1/2)

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4~5	R6	R7
東北運輸局	交通サービス利便向上促進事業(観光庁補助事業)	訪日外国人旅行者等の移動に係る利便性の向上の促進を図るためにより制約の少ないシステムの導入等を行う事業及び訪日外国人旅行者等の移動に係る利便性及び安全性の向上の促進を図るために必要な段差の解消等を行う事業に補助	●	●	●
	【再掲】 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備事業	山形県南陽市の観光施設において混雑平準化・解消のための予約システム整備に補助を実施	●		
	持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備事業	自然環境保全のため福島県新地町の観光スポットで行う遊歩道の整備に補助を実施	●		
	持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備事業	青森県黒石市の観光スポットにおいて自然環境保全のため遊歩道の整備等の事業に補助を実施		●	
	【再掲】 持続可能な観光推進モデル事業(観光庁補助事業)	東松島市を主な実施地域とする東松島版歩道学による観光商品開発・磨き上げ事業をモデル事業に採択		●	
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成(R5)、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行(R6)	●	●	
	【再掲】 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金(仮称)」の立上げ計画の作成などを予定			●
	【再掲】 オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業(観光庁補助事業)	混雑の分散を目的とした予約システム構築や調査事業を行う事業を実施		●	●
	持続可能な観光推進モデル事業(観光庁補助事業)	東松島市を主な実施地域とする東松島版歩道学による観光商品開発・磨き上げ事業をモデル事業に採択		●	
	観光地・観光産業における人材不足対策事業(観光庁補助事業)	宿泊業の人手不足の解消に資する設備として、東北各地の宿泊施設で導入したチャットボット・QRインフォメーション一体システムや掃除口ボット等に補助		●	
東北地方環境事務所	-	十和田八幡平国立公園の紅葉期の蔭沼における渋滞対策及び環境協力金の徴収(実施協議会に協力)。渋滞対策期間の前後調査による協議会の側面支援(R4)。地域関係者と連携し、インタープリテーション・飲食の場を確保することで、利用者満足と財源確保し持続可能な仕組作りへの協力(R6)	●	●	●
	青森県	渋滞・混雑対策	●	●	●
青森県	オーバーツーリズムがない”未来の奥入瀬”実現事業	奥入瀬ルール周知のためのマナー啓発、オーバーツーリズムとなる来訪者数推計、人流分析、シャトルバスの運行などを実施		●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上
①持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む) (2/2)

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
宮城県	【再掲】観光地周遊促進事業	AIカメラ等の活用により、駐車場や観光施設の混雑状況を可視化し、デジタルマップで情報発信	●	●	※
	【再掲】宿泊業人材確保支援	宿泊施設における実習機会の創出や就職定着を支援		●	※
	宿泊税導入推進事業	宿泊税の円滑な導入に向け、宿泊事業者や県民等への制度周知や宿泊事業者の事務負担軽減に向けた取組を実施(宿泊税は令和7年秋頃に課税開始予定)		●	※
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	平日旅の推進	需要分散化を狙った平日旅の利用促進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて10の機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度より減少する見込み。
- ✓ 事業内容は、情報へのアクセスを容易にする無料公衆無線LANの整備、地域周遊を促す移動手段の調査や運行支援などとなっている。

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上

②消費、周遊に関するアクセスの容易化（1/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	手ぶら観光カウンターの補助事業	空港や駅、商業施設などで荷物の一時預かりや配送をおこなう手ぶら観光カウンターの開設・改修費用、多言語化に要する経費等を支援	●	●	●
	インバウンド受入環境整備高度化事業(観光庁補助事業)	訪日外国人旅行者の周遊の促進や消費の拡大、地方誘客を図るため、多言語化、無料公衆無線LANの整備等周遊に係る環境整備の取組等を支援	●	●	●
	【再掲】ユニバーサルツーリズム促進事業(観光庁補助事業)	障がい者種別等に応じた旅行商品造成に資するモデルツアーを実施し商品組成手法を共有(山形県天童市等のエリアで実施)	●		
	事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業	山形県天童市等広域のエリアで旅行者の関心と事業者の予約・稼働状況に合わせて、観光コンテンツを組み合わせ、提案する仕組みを構築することで「地域全体の稼働と稼ぐ力の最大化」を目指す実証事業に補助	●		
	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による観光・地域経済活性化実証事業	音声ガイドコンテンツを制作・提供し、利用状況等からデータを分析することで、地域経済の循環の仕組みを構築、地域活性化に寄与する取組を支援(岩手県八幡平市等のエリアで実施)	●		
	東北地方におけるグラベルロードバイクを活用したサイクルツーリズムの推進に向けた調査実証事業	会津地域にて山林やサイクルトレイン、鶴ヶ城等の観光スポットを巡るグラベルロードバイクの観光について課題や販売の可能性を調査。自転車で巡る会津の周遊コース造成し、サイクリングツアー会社にて商品化	●		
	奥会津地域のサイクルツーリストの利便性・再訪意欲向上に向けた調査事業	奥会津地域にて、観光スポットや宿等の自転車受入環境の状況を調査。サイクルトレイン利用者のアンケートを実施し、サイクルツーリスト受入の課題等を整理	●		
	【再掲】地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平にて地域のウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシを整理し、マスタープランを作成(R5)、八幡平及び周辺地域にて、マーケットイン視点でのウリの精査や、観光地づくりと商流づくりの体制構築など分析や実証を通して実行(R6)	●	●	
	【再掲】地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁補助事業)	八幡平及び周辺地域にて、海外AGT招請や商談会出展と販売などのテストマーケティングをはじめ、人材育成や2次交通確保、推進体制強化として「ないりく基金(仮称)」の立上げ計画の作成などを予定			●
宮城県	シームレスな拠点滞在型家族旅行の推進に向けた調査実証事業	公共交通機関が充実している仙台と観光地が点在している山形にて、米国家族旅行者に刺さるコンテンツや快適な移動手段について調査。家族旅行向けのプランを造成し、海外旅行会社へ商品化の働きかけを実施		●	
	外国人観光客受入環境整備促進事業	交通事業者が行うWi-Fiや多言語案内の整備等に対して経費を助成	●	●	
	バス運行対策費補助事業	事業者バス(国庫協調)に係る費用を補助、事業内で生産性向上の取組実施	●	●	●
	ローカル線活性化支援事業	鉄道駅から観光施設へのシャトルバスの運行(涌谷町)や、案内所機能強化に係る費用(気仙沼市)を補助		●	※
	地域公共交通利活用促進事業	新たなモビリティの実証運行やキャッシュレス導入に係る費用を補助		●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上 ②消費、周遊に関するアクセスの容易化（2/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
秋田県	デジタル技術を活用した観光エリア支援事業	デジタル技術を要するスタートアップ企業と連携した実証実験を通じて、将来的な事業化を支援	●		
	新たなモビリティサービス導入支援事業	地域交通のオープンデータ化促進・デジタルサイネージ設置補助	●		
	地域公共交通デジタル化チャレンジ事業		●		
	新たな交通サービス導入促進事業			●	
山形県	仙台空港から山形・庄内へのインバウンド等誘客推進事業	仙台空港から本県(山形・庄内)への直行バスを運行する事業者を支援し、仙台からのアクセスを強化し、誘客を推進	●	●	●
	二次交通利用促進	山形空港から観光地、近隣市町へ(から)の二次交通運行事業者に対して助成を行った	●	●	※
福島県	バス利用促進事業	バス無料デーを実施し外出機会を創出し、まちなかの商店街や観光施設等へ周遊と買物や食事等の消費行動を促し、地域経済の活性化を図る		●	
仙台市	【再掲】 仙台MaaS事業	デジタルスタンプラリーの実施。デジタルマップを活用したSENDAI光のページェントにおける各スポットの人流の可視化や混雑状況のリアルタイム表示。GTFS-JPを活用したバス停や時刻表などの情報をデジタルマップに表示。ポケモン GO フェスト・東北絆まつりと連携した地下鉄時間券の販売。その他大規模イベントにおけるデジタルマップへのモデルコースなどの情報掲載	●	●	●
(一社)日本旅館協会 東北支部 連合会	セミナー開催	テーマ:「中華圏旅行者」は今、何を求めているか(加盟旅館対象)		●	
全国レンタカー協会 東北地区 連合会	周遊促進	レンタカーを活用した周遊の取組推進	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】「TOHOKU MaaS」の推進	地域・観光型 MaaS「TOHOKU MaaS」の推進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて14の機関が取り組みを展開。今年度は活発な活動が行われているものの、次年度は今年度と比べて事業数が減少する見込み。
- ✓ 事業内容は、設備等の多言語化の推進、ガイド育成、キャッシュレス決済環境整備などとなっている。

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上 ③多言語化、消費・決済環境の整備 (1/2)

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	インバウンド対応型鉄軌道車両整備事業(観光庁補助事業)	訪日外国人旅行者等の移動に係る利便性の向上の促進を図るため、鉄軌道車両設備の整備等を行う事業に補助	●	●	●
	交通サービスインバウンド対応支援事業	待合室や船内において多言語案内・翻訳用設備の導入、案内標識の設置、ホームページなどの多言語化改修等を行った旅客船事業者等に補助を実施	●	●	
	交通DX・GXによる経営改善支援事業	チケット発券システムに島民の料金割引に関する情報を連携させ、島民の乗船手続きの簡便化、効率化を図る山形県酒田市の旅客船事業者を補助		●	
	【再掲】 インバウンド受入環境整備高度化事業(観光庁補助事業)	訪日外国人旅行者の周遊の促進や消費の拡大、地方誘客を図るため、キャッシュレス決済環境、多言語化の整備等周遊に係る環境整備の取組等を支援	●	●	●
	先進的なサイクリング環境整備事業(観光庁補助事業)	宮城県沿岸部のサイクリングルート「震災復興・伝承みやぎルート」において行う多言語案内看板設置に補助	●		
	【再掲】 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業(観光庁補助事業)	山形県蔵王スキー場において、スキー場の魅力向上のためレストハウスの改修や休止リフトの撤去、多言語・キャッシュレスの自動発券機の導入等を実施	●		
	【再掲】 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業(観光庁補助事業)	福島県会津磐梯エリアにおいて、スキー場の魅力向上のため降雪機の導入やシャトルバスの整備、多言語案内看板の設置等を実施		●	
	【再掲】 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業(観光庁補助事業)	インバウンド需要を取り込む意欲やポテンシャルの高い地域における国際競争力の高いスノーリゾートの形成を促進			●
	地域観光資源の多言語解説整備支援事業(観光庁補助事業)	福島県北塩原の裏磐梯ビジターセンターにおいて、磐梯朝日国立公園の自然やジオパーク、施設内展示物等の多言語解説を作成	●		
	地域観光資源の多言語解説整備支援事業(観光庁補助事業)	秋田県秋田市において、秋田城や土崎みなと伝承会館等の施設に関する多言語解説を作成		●	
仙台国税局	【再掲】 通訳案内士向け酒蔵見学会	旅行者にとって分かりやすく魅力的な解説文を整備するため、多言語解説の専門人材をリスト化し、派遣体制の構築、解説文作成等の支援を行う			●
		福島県内に在籍する全国通訳案内士に酒類や酒蔵の魅力を知ってもらうとともに、将来接する外国人観光客等にその魅力を発信していただくことによって、インバウンド促進につなげていくことなどを目的に、お酒の知識に関する講義、酒蔵見学、ソムリエによるフードペアリング講義を実施		●	
				●	
青森県	青森県「外国人にやさしい立ち寄り施設」調査実施業務	多言語対応、非接触型決済、算用数字標記、無料Wi-Fi設置の要件を満たした施設を県ホームページに掲載	●	●	●
岩手県	交通系ICカードシステム整備費補助(岩手県単独補助)	公共交通事業者(バス)がICカードシステムを導入する経費の一部に対して支援を実施	●	●	

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上 ③多言語化、消費・決済環境の整備（2/2）

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
宮城県	【再掲】 外国人観光客受入環境整備促進事業	県内の宿泊施設や観光集客施設が行うWi-Fi整備やHPの翻訳、多言語案内看板の整備等に対して経費を助成	●	●	
山形県	【再掲】 山寺英語ガイド「Yamaderans」への支援事業	峯の浦ガイドツアーの開発・販売等への支援	●	●	●
福島県	【再掲】 受入体制整備事業	多言語現地ガイドの育成等	●	●	●
	【再掲】 ホープツーリズム運営・基盤整備事業	ホープツーリズムの推進のための人材育成、教育旅行プログラムの磨き上げ、多言語ガイド育成等	●	●	●
	【再掲】 インバウンド受入環境促進事業	多言語・キャッシュレス対応等に関する受入環境啓発の実施		●	
	【再掲】 訪日観光客受入体制整備事業	OTA及びGBPへの掲載支援、県多言語サイトへの宿泊施設等情報掲載			●
仙台市	【再掲】 インバウンド対応力向上に向けた事業者支援事業	インバウンド誘致に意欲的な市内観光関連業界を選定し、インバウンド向けの受入環境整備やコンテンツ販売のノウハウ習得を支援	●	●	※
(一社)東北観光推進機構	多言語電話通訳サービス	外国語対応をスムーズにすることで、来訪者の安心安全及び満足度を向上させるとともに、外国人観光客の受入を促進/東北6県、新潟	●	●	●
日本ホテル協会東北支部	決済環境の整備	自動チェックイン機端末の導入		●	
全国レンタカー協会 東北地区連合会	多言語対応の整備	多言語対応の指差しシートを導入	●	●	●
東北旅客船協会	QRチケットシステム・キャッシュレス券売機導入	酒田市定期航路		●	
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	多言語対応	自社HP及び列車予約システム「JR-EAST Train Reservation」の多言語(9か国語)対応	●	●	●
	Suica電子マネー利用促進	東北エリアでのSuica加盟店開拓と利用促進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて9つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同規模が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、ローカル鉄道の利用促進、インバウンドの周遊促進に係る事業などとなっている。

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上 ④公共交通機関を活用した楽しい旅の演出

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 東北地方におけるグラベルロードバイクを活用したサイクルツーリズムの推進に向けた調査実証事業	会津地域にて山林やサイクルトレイン、鶴ヶ城等の観光スポットを巡るグラベルロードバイクの観光について課題や販売の可能性を調査。自転車で巡る会津の周遊コース造成し、サイクリングツアー会社にて商品化	●		
	【再掲】 オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業】(観光庁補助事業)	混雑の分散を目的とした予約システム構築や調査事業を行う事業を実施		●	●
	【再掲】 シームレスな拠点滞在型家族旅行の推進に向けた調査実証事業	公共交通機関が充実している仙台と観光地が点在している山形にて、米国家族旅行者に刺さるコンテンツや快適な移動手段について調査。家族旅行向けのプランを造成し、海外旅行会社へ商品化の働きかけを実施		●	
宮城県	阿武隈急行線利用促進支援事業	沿線自治体を通じて、あぶQウォーク(阿武隈急行に乗車し沿線周辺をウォーキングするイベント)に係る費用を補助	●	●	●
秋田県	第三セクター鉄道利用促進事業	秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道	●	●	※
	JRローカル線利用促進事業	JR花輪線・北上線		●	※
山形県	アジアプロモーション事業(台湾・香港インフルエンサー等招請)	新潟県、JR東日本と連携し外国人専用鉄道パス(JRイーストパス)を活用した首都圏(羽田・成田空港)からの誘客を実施。台湾・香港からインフルエンサー計4名を招請しYouTube等で発信	●		
福島県	乗って。只見線利活用促進事業	沿線の地域資源を活かした企画列車や、少ないダイヤを補うバスツアー等を実施	●	●	●
	魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業	沿線地域住民や地元の高校生などが参画した鉄道と沿線地域の活性化の取組を促すため、利活用プレゼン大会等を実施し、住民の当事者意識を高め、持続的な地域活性化と、若者のマイルール意識の醸成を図る		●	●
仙台市	首都圏から仙台へのインバウンド誘客促進事業	JR東日本と連携し、JR EAST PASS保有のインバウンド客を対象に、本市の「るーぱる仙台・地下鉄共通一日乗車券」を配布するキャンペーンを実施するとともに、市内で利用できる体験クーポンの提供や、Web広告等を活用した本キャンペーンおよび本市観光情報について発信。		●	
	国内インバウンド誘致事業	本市へ寄港が予定されているクルーズ船を対象に、シャトルバスのニーズを把握するために実証実験を実施するほか、クルーズ船による地域経済の活性化を狙うべく、下船客に市内の飲食店や商店等利用を促すためのマップを作成する			※
(一社)東北観光推進機構	周遊パス等の二次交通商を活用した東北周遊観光コンテンツ造成事業	FIT層向けに展開している「TOHOKU HIGHWAYBUS TICKET」の商品造成と販売/東北全般	●	●	●
(一社)東北経済連合会	【再掲】 観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】 外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	のってたのしい列車の運行	東北地方における「のってたのしい列車」運行	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて4つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同規模が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、観光地における循環バスやシャトルバスの運行支援やパーク＆ライドの推進、シェアサイクル事業の構築などとなっている。

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上

⑤多様なモビリティの活用による環境に優しい観光地の実現

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
宮城県	みやぎエコ推進バス運行補助事業	市町村・民間団体などが行う観光地における循環バス・シャトルバスの運行に要する経費を助成	●	●	※
	ローカル線活性化支援事業	パーク＆ライド等に係る費用を補助/石巻市、気仙沼市、登米市、大崎市、涌谷町、美里町、女川町、南三陸町			※
仙台市	仙台都心部コミュニティサイクル事業	仙台都心部を中心としたコミュニティサイクル(シェアサイクル)事業を運営事業者と共同実施(H25.3～継続)。サイクルポートの設置促進、各種広報及び交通安全啓発の実施	●	●	●
	Uminote cycle事業	R5年度デジ田交付金を活用し「防災環境“周遊”都市・仙台モデル推進事業」の一環として、仙台市沿岸部エリアにおける回遊性の向上を目的にシェアサイクルを構築(実施主体は民間事業者。R5年度より実施し、現在も継続中)	●		
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察(ファムツアー)の企画・実施	●	●	●
東日本旅客鉄道(株)	【再掲】「TOHOKU MaaS」の推進	地域・観光型 MaaS「TOHOKU MaaS」の推進	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

- ✓ 実施・予定も含めて6つの機関が取り組みを展開。次年度の事業数は今年度と同規模が見込まれる。
- ✓ 事業内容は、GBP登録支援、観光案内看板等のリニューアル、食の多様性への対応に向けた専門家による伴走支援などとなっている。

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上

⑥多様な属性を持つ旅行者に合わせた受入環境の整備、ユニバーサルツーリズムの推進

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	交通サービスインバウンド対応支援事業	訪日外国人旅行者が安心・安全に利用いただくため、船内の空調設備や感染症拡大防止対策を実施した旅客船事業者や、車椅子利用者が安心して利用できる環境を整備するため、バリアフリー対応乗降タラップの設置を行った旅客船事業者に対して補助を実施	●	●	
	交通DX・GXによる経営改善支援事業	地域交通のデジタル化・システム化・グリーン化の取組でデジタルサイネージを導入する宮城県塩竈市の旅客船事業者を補助		●	
	【再掲】東北地方における精神文化によるSBNR層の来訪促進に向けた調査・実証事業	会津若松市内で、精神的な豊かさを求める旅行者層の来訪促進に向けガイド育成、受入体制の構築などを推進するため調査を実施	●		
岩手県	いわてインバウンド推進事業	インバウンド受入態勢整備のためのセミナー（情報発信、食の多様化対応など）	●		
	世界が気づいた岩手の魅力発信事業	インバウンド受入態勢整備のためのセミナー開催（GBP登録支援など）		●	
	インバウンドぐるっと県内周遊促進事業	インバウンド受入態勢整備のためのセミナー開催（GBP登録支援、食の多様化など）			●
	みちのく潮風トレイル受入態勢強化事業費	地域一体となったみちのく潮風トレイルの受入態勢強化を実施			●
秋田県	Googleマップ等を活用した受入態勢整備事業	県内観光関連者のGoogleマップ登録促進及び運用支援	●		
	大型観光案内看板リニューアル事業	県内の大型観光案内看板をリニューアルし、県内周遊観光を推進	●		
福島県	【再掲】インバウンド受入環境促進事業	多言語・キャッシュレス対応等に関する受入環境啓発の実施		●	
	【再掲】訪日観光客受入体制整備事業	OTA及びGBPへの掲載支援、県多言語サイトへの宿泊施設等情報掲載			●
仙台市	ムスリム・ベジタリアン・ヴィーガン受入環境整備事業	食の多様性への対応を目的に、モデル事業者を複数選定し、対応メニューの開発や改良、食品表示やメニュー、SNSマーケティングに至るまで専門家による伴走支援を行い、自走化を目指す。また多様性に対応した店舗についてインバウンド向けに積極的な情報を発信	●	●	※
(一社)東北経済連合会	【再掲】観光地づくりの推進	地元観光商品造成機能を持つ司令塔の構築に向けた調整	●	●	●
	【再掲】外航クルーズ船誘致の推進	船会社や旅行会社の地元視察（ファミツアー）の企画・実施	●	●	●

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(4)個別事業の概要

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上 その他

●:実施 ※:予算化等の条件付き

実施構成員所属機関	事業名	事業概要	実績		予定
			R4～5	R6	R7
東北運輸局	【再掲】 共創モデル実証プロジェクト	地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)によりその維持・活性化に取り組む事業を支援	●		
	【再掲】 共創・MaaS実証プロジェクト(共創モデル実証運行事業)	・磐梯山八方台登山口送迎タクシー運行事業 ・「モビタ」は二刀流の働くクルマ〜グリスロがつなぐ地域の福祉、そして観光まちづくり〜		●	
	【再掲】「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(共創モデル実証運行事業)	地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)によりその維持・活性化に取り組む事業を支援			●
東北農政局	【再掲】 農山漁村発イノベーション推進・整備事業(農泊推進型)(農林水産省 交付金事業)	農泊地域の実施体制の整備や経営の強化、食や景観の観光コンテンツとしての磨き上げ、国内外へのプロモーション、古民家を活用した滞在施設の整備等を一体的に支援/東北管内	●	●	
	【再掲】 地域資源活用価値創出推進・整備事業(農泊推進型)(農林水産省 交付金事業)	農泊地域の実施体制の整備や経営の強化、食や景観の観光コンテンツとしての磨き上げ、国内外へのプロモーション、古民家を活用した滞在施設の整備等を一体的に支援。また、農泊施設の避難所等としての活用を推進/東北管内			●
青森県	青森県鉄道軌道安全輸送設備等整備事業	県内の民営鉄道事業者の設備整備、車両修繕に係る費用に対し、国及び沿線市町村と協調して補助金を交付	●	●	●
	ローカル鉄道周遊促進事業	県内ローカル鉄道の情報を一元的に提供する特設Webページの作成及びツアー造成等を実施			●
山形県	人材確保事業	空港で働く人材の確保のため、庄内空港の保安検査担当会社及びグランドハンドリング担当会社合同の企業説明会を実施	●		
	人材確保事業	自治体、グランドハンドリング事業者、航空会社などが構成員となっている空港ワーキンググループにおいて、人材確保状況等の状況を共有。必要に応じて合同企業説明会等の開催も検討		●	※
(一社)東北観光推進機構	観光人材「フェニックス塾」	セミナー開催、ワークショップ、フィールドワーク等年8回開催/東北全域	●	●	●
	多言語ガイド研修事業	インバウンドガイドに求められる基礎コミュニケーション力の向上/東北全域		●	

注)事業概要は過去の実績に基づいている。令和7年度については一部内容が異なる場合がある。

(5) 調査結果の整理

■ 取り組み主体について

- 行政および民間の各機関において、多岐にわたる取り組みが進められている。行政機関では東北運輸局のほか、宮城県と福島県が、民間では(一社)東北経済連合会や東日本旅客鉄道(株)などが主体となり、幅広い施策を展開している。
- プロモーション事業など一部に構成機関同士が連携して実施した取り組みもみられるが、こうした動きは限定的である。

■ 取り組みの実施状況について

(取組事項別の動向)

- 今年度の各取り組みにおける平均機関数は、「(2)観光交流の拡大」が最も多く、充実した取り組みが展開されている。次年度も引き続き安定した活動が見込まれる。
- 一方、「(3)安全・安心の確保」に取り組む機関数は最も少なく、次年度も増加の見通しは立っていない。このため、低調な状況が継続する見通しとなっている。
- また、「(4)観光産業の再生と人材育成」や「(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上」は、次年度の取り組み機関数が減少することから、活動の縮小が懸念される。

(個別項目別の動向)

- 令和6年度においては、観光交流の拡大に資する「新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み」や「地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進」に多くの機関が参画している。これらの取り組みは、次年度も同規模で継続される見込みである。
- 一方、受入環境整備やアクセシビリティの向上に資する「多言語化、消費・決済環境の整備」は、今年度がピークとなり、次年度の活動は縮小する見込みとなっている。多言語化改修、消費・決済端末等の導入といった受入環境整備が一段落したことがうかがえる。

■ 取組事項別の事業傾向 (1/2)

(1) デジタルファーストな観光施策へ

多言語WEBサイトの運用等のインバウンド向け施策、デジタルマーケティングの実施、MaaSの推進 など

(2) 観光交流の拡大

- ① 新型コロナウイルス感染症の収束後の訪日需要の早期回復と市場の多角化に向けた幅広い市場での認知度向上の取り組み

訪日需要の回復と高単価旅行者の獲得に向けて、旅行会社やインフルエンサーの招請、ファムトリップの実施、国内外でのプロモーションの実施、高付加価値商品の造成 など

- ② デジタルプロモーションによる関係人口・交流人口の拡大

インバウンド向けの情報発信が主流。地域住民の観光地域づくりへの参画を促す取り組みは見受けられない

- ③ 地域独自のストーリーを提供する滞在コンテンツの造成促進

精神文化、湯治(混浴)文化、発酵食文化、日本遺産、農泊といった地域の観光資源を活かしたツアーの造成、「みちのく潮風トレイル」などのアドベンチャーツーリズムの促進 など

- ④ サステナビリティに着目した東北の資源の再発見と磨き上げ

SDGs探究学習に応える体験プログラムの情報提供や親子体験事業の実施、宿泊施設のサステナブル対応の推進 など

- ⑤ 働く場所を選ばない勤務の日常化、一般化と観光産業の事業構造の変革

ワーケーションの推進に資する事業を実施

- ⑥ 観光が地域を一層裨益していくための持続可能な観光地域づくり、連携体制の整備

地域の多様な産業と連携したツアー造成、国内向けプロモーションの実施 など

- ⑦ アウトバウンド・国際相互交流の促進

海外旅行への機運醸成に資するパスポート取得補助や海外教育旅行への助成、友好交流の強化 など

(5)調査結果の整理

■ 取組事項別の事業傾向（2/2）

(3)安全・安心の確保

- ① 新しい旅のスタイルの定着と感染症対策の徹底
リーフレット等による啓発活動の実施、キャッシュレス化支援 など
- ② デジタル技術を活用した災害・事故等発生時の関係者の情報共有、旅行者への情報提供の円滑化
訪日外国人旅行者に向けた災害情報の伝達環境整備 など
- ③ 正確な情報発信による風評被害対策の促進
風評払拭に向けた正確な情報発信 など

(4)観光産業の再生と人材育成

- ① 小グループ化などニーズの変化に対応したビジネスモデルの再構築
宿泊施設等の改修による高付加価値化や生産性向上に資するDX化の推進に係る取り組み支援 など
- ② リモートワークによる都市部IT人材の活用
ワーケーション商品の販売
- ③ 地域独自のストーリーの提供と連携した宿泊の高付加価値化
旅行者の滞在時間増加につながるコンテンツ開発、磨き上げ など
- ④ エコツーリズムやジオツーリズムなど持続可能な観光地経営、コンテンツ造成に係る人材の創出
ガイド人材の育成のほか、高度な専門人材の育成に資する大学での寄付講座の展開 など
- ⑤ 観光地・観光産業における人手不足の解消
生産性向上や外国人材の受入促進に向けたセミナーの開催、大学生等若者へのアプローチ など

(5)受入環境整備とアクセシビリティの向上

- ① 持続可能な観光地域づくり(オーバーツーリズム対策等を含む)
需要分散の推進、自然環境の保全や渋滞対策に係る事業、宿泊税の導入に向けた取り組み など
- ② 消費、周遊に関するアクセスの容易化
情報へのアクセスを容易にする無料公衆無線LANの整備、地域周遊を促す移動手段の調査や運行支援 など
- ③ 多言語化、消費・決済環境の整備
設備等の多言語化の推進、ガイド育成、キャッシュレス決済環境整備 など
- ④ 公共交通機関を活用した楽しい旅の演出
ローカル鉄道の利用促進、インバウンドの周遊促進に係る事業など など
- ⑤ 多様なモビリティの活用による環境に優しい観光地の実現
観光地における循環バスやシャトルバスの運行支援やパーク＆ライドの推進、シェアサイクル事業の構築 など
- ⑥ 多様な属性を持つ旅行者に合わせた受入環境の整備、ユニバーサルツーリズムの推進
GBP登録支援、観光案内看板等のリニューアル、食の多様性への対応に向けた専門家による伴走支援 など

4 戦略会議における有識者コメント

戦略会議における有識者コメント

令和7年3月24日に開催された「第9回観光ビジョン推進東北ブロック戦略会議」において、各施策の取組状況および調査結果が報告され、有識者から次のコメントが寄せられた。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 教授 宮原 育子 様

- **コロナ禍後の社会変化**: コロナ収束後、インバウンドは東北に足が向きつつあるほか、デジタル化が進み、オンラインでの会議開催も当たり前の社会になった。コロナ後の社会変化を感じている。
- **観光業の人手不足**: 観光に関わる人材、特に旅館業や調理場など、現場の人材不足が深刻になっていることがわかった。
- **観光動向データの活用**: 今後の戦略づくりのなかで、東北観光推進機構が観光動向データを蓄積しており、東北全体の事業者の利益としての活用も随分進んでいる。
- **オーバーツーリズム対策**: 東北は自然がウリであり、域外から多くの人々が来るなかで青森県の奥入瀬溪流の取り組みが好例。訪問客の誘導や環境保護を両立する計画的な対応が重要である。
- **持続可能な観光の推進**: 地域・県・国が連携し、観光資源の保護と適正管理を進めることが、東北の観光の持続可能性を高める鍵となる。

石巻専修大学 経営学部経営学科 教授 庄子 真岐 様

- **観光業の人材不足**: 特に調理師の確保が課題。若年層だけでなく対象を広げて、潜在的な有資格者や経験者へのPRが必要。朝食提供をやめる宿泊施設もあり、地域飲食店といった地域をあげた仕組みづくりが求められている。
- **国内旅行者の減少**: 宿泊単価の上昇が影響し、2024年の国内旅行者の宿泊者数は前年より減少。インバウンド需要の高まりに対し、二重価格や需要分散策（茨城県や愛知県が取り組むラーケーションなど）の検討が必要。
- **観光施策の優先順位**: 各機関の取り組み状況の整理により、どこが厚くて、どこが薄いかを把握できた。取り組みが薄いところについては、取り組みの必要性が高いにもかかわらず進んでいない施策に着眼して、連携しながら進めてほしい。

内閣府クールジャパン・プロデューサー / 東北芸術工科大学 客員教授 陳内 裕樹 様

- **デジタルファーストな観光政策**: デジタルの活用が単なる手段ではなく、政策全般に関わり、EBPM（エビデンスに基づく政策決定）の実現に不可欠である。そのため、中期方針において重要な位置付けをしてきた。東北観光推進機構の尽力で、データプラットフォームは整備されたものの、すべての地域がこれを活用し、観光政策の変革に取り組んでいるとはいえない。AIとデータを活用し、最低限の予算で最大の成果（経済効果やウェルビーイング）を実現する必要がある。東北地域の観光地経営は、デジタル化ではなく「根本的な変革」が求められている。
- **成果の「見える化」**: JNTOのSNS上で日本ファンの登録数に対し、東北のファン数は極めて少ない。前向きに捉えると大チャンスであり、入込客数といった結果論に縛られず、客観的なデータ分析を基に成果を「見える化」することが重要である。
- **観光人材のデジタル対応強化**: デジタルを活用した観光経営を担う専門人材が不足。大学等と連携し、データドリブンな観光マネジメントを実践できる人材を育成すべきである。
- **次期計画に向けた提言**: DXは、単なるデジタル化ではなく、「根本的な経営変革」を意味する。次期計画では、「デジタルファースト」ではなく「トランスフォーム」を意識した取り組みが必要。ダッシュボードでリアルタイムに管理ができることが国際的な常識になっている。

5 課題認識

■ 既存の取り組みの継続・強化と重点分野の拡充

各分野における取り組みの進捗状況や今後の見通しに差があるため、バランスを考慮した対応が必要である。特に、必要性が高いにもかかわらず、取り組みが薄い分野については、強化策を講じる必要がある。

■ 官民連携の強化と民間機関の参画促進

広域的に周遊しやすい環境整備が進む中、県境を越えた連携の重要性が増している。また、オーバーツーリズム対策では、訪問客の誘導や環境保護を両立する計画的な対応が重要である。民間機関のさらなる参画を促し、官民連携を一層強化することが求められる。

■ 観光地・観光産業における人手不足への対応

観光需要の急速な回復に伴い、観光地・観光産業における人手不足が深刻化している。しかしながら、生産性向上を目的としたDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は限定的である。また、観光人材のデジタル対応強化も不可欠となっている。

■ 観光財源の確保と持続可能な観光施策の推進

観光施策の持続的な実施には安定した財源の確保が不可欠である。宿泊税の導入を含めた観光財源のあり方について検討し、地域の観光振興に資する適切な財源の確立が求められる。

■ 地域住民を巻き込んだ観光地域づくりの推進

現在、多くの取り組みがインバウンド誘客に集中しているが、地域住民の観光地づくりへの参画を促進する取り組みも重要である。地域をあげた仕組みづくりなど、地域と一体となった持続可能な観光の実現に向けた施策が求められる。

6 取り組みの方向性

取り組みの方向性

持続可能な観光振興を実現するためには、官民や地域間、多様な産業との連携を強化し、地域社会と一体となった観光戦略を推進することが不可欠である。

特に、人材不足への対応、DX化による生産性向上（変革）、観光財源の安定化は喫緊の課題であり、積極的な施策展開が求められる。

これらの取り組みにより、観光を通じた地域経済の活性化の好循環を図り、地域における観光関連産業の持続的な発展を支えていくことが重要である。

■ 取り組みの方向性

既存の取り組みの継続・強化と重点分野の拡充
●『観光ビジョン推進東北ブロック戦略会議』における情報共有 →各地域の取り組み状況を可視化、成功事例を横展開する。 ●データに基づいた優先施策の選定と重点支援の実施
官民連携の強化と民間機関の参画促進
●事業連携の強化や共同実施の推進 →複層的な取り組みの実施により、効果の最大化、負担の軽減を図る。 ●民間企業のインセンティブ制度を設け、観光施策への参画を促進 →民間機関が主体的に取り組める環境整備や支援策を推進する。
観光地・観光産業における人手不足への対応
●DX導入支援による業務効率化と省人化の推進 ●データを客観的に分析し、観光地経営を担う専門人材の育成・強化
観光財源の確保と持続可能な観光施策の推進
●宿泊税導入に向けて宮城県と仙台市の先行事例研究と議論の深化 →地域の魅力向上や受入環境整備への活用が期待される。 ●観光関連事業の収益化を図る新たなビジネスモデルの検討
地域住民を巻き込んだ観光地域づくりの推進
●地域住民に対する地域の観光の現状提示、今後の観光ビジョンの共有 ●地域住民を対象とする観光関連ワークショップやイベントの開催 →地域住民の観光地域づくりへの参画機運の醸成をめざす。